



MDLP



はじめに

基本操作

テレビ

ラジオ

MD(AVIC-V7MD)

交通情報

ビデオ

録音

TVモニター設定

音の調整

その他の機能

付録

## 取扱説明書

7.0型ワイドTV/MD・DSPAVパワーユニット

7.0型ワイドTV・DSPAVパワーユニット

AVIC - V7MD

AVIC - V7

リモコンタイプ


carrozzeria


## 安全のために必ずお守りください

### 絵表示について


取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。


表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。


 **警告** この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

 **注意** この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。  
注意

 このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。  
禁止

 このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。  
必ず行う

# 安全上のご注意

(別冊の「安全上のご注意」もお読みください)

## 警告

### [ 使用方法 ]

#### 運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

#### 走行中にテレビやビデオを見ない



禁止

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。

### [ 異常時の処置 ]

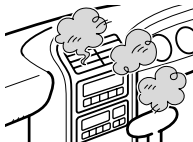
#### 故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

#### 異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

#### ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

# 本書の見かた

## 本書の表記のしかた

表記	意味
<b>ご注意</b>	注意マーク 操作を行う状況においての注意していただきたいことや、本製品の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて説明しています。
<b>メモ</b>	メモマーク 操作する上で注意すべきことやヒント、便利な使いかたなどについて説明します。
[   ]	リモコンや本体などについているボタンを表します。 例：CD再生中に [ AUDIO MENU ] を押す
斜体	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例：「TVモニターの正しい使いかた」(70P)を参照してください。
つづく→	続きマーク 右ページにおいて、操作手順が次ページに続く場合を表します。

**メモ**  
本書で使っている画面例は、実際の画面と異なることがあります。  
実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

## 目次

安全のために必ずお守りください	2
安全上のご注意	3
本書の見かた	4

## はじめに

ご使用前に知っておいて いただきたいこと	7
各部の名称とおもな働き	9
TVモニターの立ち上げと 調整のしかた	13
TVモニターを立ち上げる	13
TVモニターを収納する	13
TVモニターの角度を調整する	14
TVモニターを一時的に 手前に倒す	14
長時間録音されたMDの 再生について	14

## 基本操作

ソースを切り替える	15
ソースをOFFにする	15
ソース画面に切り替える	16
ソースプレートを手動で表示 させる	16
メニューを表示させる	17

## テレビ

テレビの見かた	18
記憶されたチャンネルの呼び出しかた (プリセットチューニング)	19
プリセットの種類を選ぶ	19
プリセットチャンネルを 順に呼び出す	20
チャンネルリストから呼び出す	21
テレビ受信に関する設定	22
「TV」メニューを開く	22
受信状態の良いチャンネルを自動 的に記憶させる(BSSM)	22
手動でチャンネルを記憶させる (マニュアルプリセット)	23
音声多重放送の副音声を聞く	25

## ラジオ

ラジオの聞きかた	26
記憶された放送局の呼び出しかた (プリセットチューニング)	27
プリセットの種類を選ぶ	27
プリセット放送局を順に 呼び出す	28
プリセット放送局のリスト から呼び出す	28
ラジオ受信に関する設定	29
「FM」「AM」メニューを開く	29
受信状態の良い放送局を自動的 に記憶させる(BSM)	29
手動で放送局を記憶させる (マニュアルプリセット)	30
FMダイバーシティを設定する	31

<b>MD( AVIC-V7MD )</b>		<b>音の調整</b>	
MDの聞きかた	32	音を調整する	52
MDのいろいろな再生のしかた	33	「AUDIO & DSP設定」	
「MD」メニューを開く	33	メニューを開く	53
リピート再生	33	音質と音場の調整	58
ランダム再生	34		
スキャン再生	34		
リストから聞きたい曲を探す (トラックリスト)	35	<b>その他の機能</b>	
再生を一時停止する(ポーズ)	36	その他の機能	65
		5.1ch対応DSPユニットを 組み合わせる	65
		バックカメラを組み合わせる	66
		サブディスプレイについて	67
		リアモニターを組み合わせる	68
		ナビゲーションのハード ディスクを取り外した場合	69
		TVモニターの正しい使いかた	70
		MDの正しい使いかた	71
		本機のリセットのしかた	72
<b>交通情報</b>		<b>付録</b>	
交通情報を受信する	37	故障かなと思ったら	73
		共通項目	73
		モニター	75
		テレビ	76
		ラジオ	76
		MD(AVIC-V7MD)	77
		MDのエラー表示	77
		サブディスプレイの表示	78
		保証書とアフターサービス	79
		仕様	80
		索引	82
		メニュー索引	82
<b>ビデオ</b>			
ビデオを見る	38		
ビデオを見られるように 設定する	38		
ビデオの見かた	39		
<b>録音</b>			
ミュージックサーバーに録音する	40		
録音時間を設定する	41		
<b>TVモニター設定</b>			
TVモニターの設定	42		
TVモニターの自動開閉を 設定する	42		
TVモニターを自動で後ろに 下げる	42		
ディスプレイ設定を変更する	43		
画質を調整する	45		
画面の表示モードを切り替える	48		

## ご使用前に知っておいていただきたいこと

### 安全走行のために

本機では、パーキングブレーキのON/OFFを検知しており、走行中にテレビやビデオなどの映像を見ることができないようになっています。また、走行中はオーディオ、TVモニターの一部のメニュー操作はできません。(走行中は、映像の上に以下のようなメッセージが表示されます。)安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけ、メッセージが消えてから、操作してください。

(例) テレビを見ようとしたとき



### 画面が見えにくいときは

液晶画面は、その構造上きれいに見える角度が限られています。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、TVモニターの角度や見る角度に合わせて黒の濃さを調整してください。また、液晶画面自体の明るさも変更できますので、お好みに応じて調整してください。

「TVモニターの角度を調整する」(14P)、「黒の濃さやコントラストを調整する」(45P)、「液晶画面の明るさを調整する」(46P)を参照してください。

### バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、かならず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

### 携帯電話をお使いになるときのご注意

携帯電話をお使いになるときは、携帯電話のアンテナをTVモニターに近づけないでください。画面に斑点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

### TVモニターの液晶画面を保護するために

本機を使用していないときは、TVモニターに直射日光が当たらないようにしてください。高温のために液晶画面が故障する恐れがあります。

「TVモニターの正しい使いかた」(70P)を参照してください。

## 組み合わせたナビゲーションの違いによる本機の機能制限

組み合わせたナビゲーションによって、本機の機能が制限されます。次の表でご使用のシステムの機能を確認してください。

機能	本機と組み合わせるナビゲーション		
	AVIC-H9	AVIC-H99	AVIC-H09 / H07
サブウーファー設定 ( 55P )		×	×
ハイパスフィルター設定 ( 56P )		×	×
ソースレベルアジャスター表示 ( 54P )	7パターン 1	5パターン 2	5パターン 2
5.1ch DSPユニット ( 65P )		×	×
サブディスプレイの時計表示 ( 68P )		×	×
サブディスプレイのナビゲーションオーディオ表示 ( 67P )		3	3
セットバック機能 ( 42P )		×	×
サブディスプレイディマー設定 ( 43P )		ON固定 ( 4 )	ON固定 ( 4 )
バックカメラ用画質調整 ( 45P )			5
バックカメラ用「画質調整」メニューの表示方法 ( 45P )		×	×

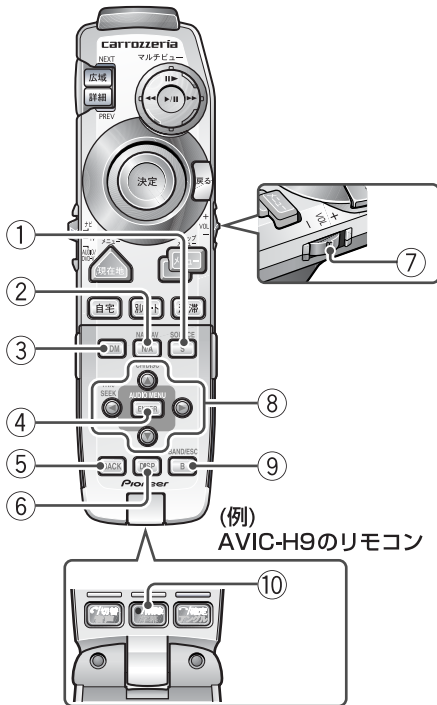
- 1 AM ( 交通情報 )、テレビ ( VTR1、VTR2 )、AUX、MD、DVD、CD ( MP3ディスク )、ミュージックサーバーを個別に調整できます。
- 2 AM ( 交通情報 )、テレビ ( VTR1、VTR2 )、AUX、MD、ナビゲーション ( DVD、CD、MP3ディスク、ミュージックサーバー ) を個別に調整できます。
- 3 ナビゲーションのオーディオ ( CD、DVD、ミュージックサーバーなど ) 再生時は、「NAVI」と表示されます。
- 4 設定項目は表示されません。
- 5 「HDDナビゲーションマップVol. 2」以降にバージョンアップしていない場合は、バックカメラに対応していないため、調整できません。



# 各部の名称とおもな働き

## ナビゲーション本体に付属のリモコン

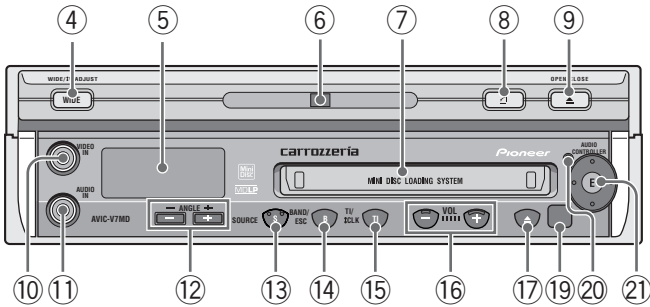
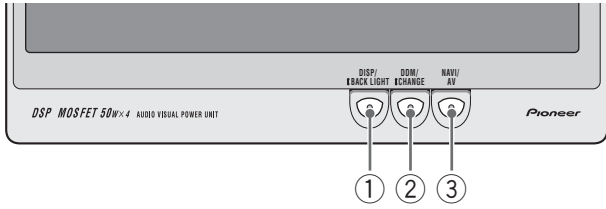
本書は、おもにナビゲーション本体に付属のリモコンによる操作の説明を行っています。ここでは、AVIC-H9のリモコンを例に説明します。



- ① SOURCEボタン ( 15ページ)  
ソース (音源) を切り替えたり、ソースをOFFにします。
- ② NAVI/AVボタン ( 16ページ)  
ナビゲーション画面とソース画面を切り替えるときに使用します。
- ③ DDMボタン ( 48ページ)  
2画面表示に切り替えるときに使用します。
- ④ AUDIO MENUボタン ( 17ページ)  
「オーディオメニュー」を表示したり、項目を決定するときに使用します。
- ⑤ BACKボタン ( 17ページ)  
「オーディオメニュー」画面で、前の画面に戻るときに使用します。
- ⑥ DISPLAYボタン ( 16ページ)  
ソースプレートの表示をON/OFFするときに使用します。
- ⑦ VOLUMEツマミ ( 52ページ)  
音量を調整します。  
ツマミを押し込むと、アッテネーターが働き、音量が約1/10になります。(押し込むたびに、アッテネーターをON/OFFできます。)
- ⑧ ▲ボタン/▼ボタン/◀ボタン/▶ボタン ( 17ページ)
- ⑨ BAND/ESCAPEボタン ( 18ページ)  
バンドを切り替えたり、「オーディオメニュー」画面や「画質調整メニュー」画面が表示されているときに押すと、メニューは閉じます。
- ⑩ 録音/削除ボタン ( 40ページ)  
音声の録音や、入力した文字を削除するときに使用します。

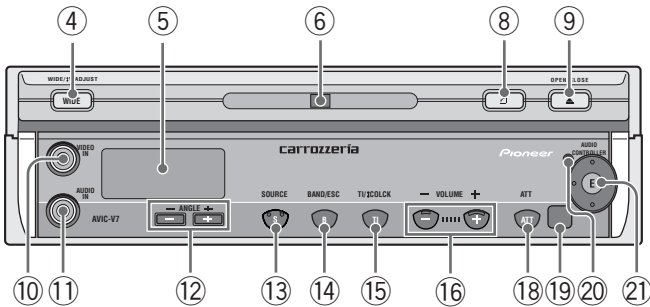
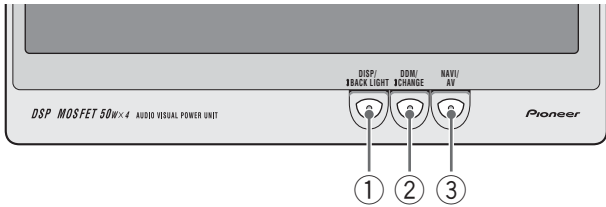
本体

AVIC-V7MD



各部の名称とおもな働き

AVIC-V7



- ① DISP/BACKLIGHT ( 16、51ページ)  
映像やソースプレートのON/OFFを切り替えます。
- ② DDM/CHANGEボタン ( 48ページ)  
2画面表示させるときや2画面表示の左右を入れ替えるとき、子画面の位置を移動するときに使います。
- ③ NAVI/AVボタン ( 16ページ)  
ナビゲーション画面とソース画面を切り替えるときに使います。
- ④ WIDE/V.ADJUSTボタン ( 45ページ)  
画面の表示モードを切り替えたり、「画質調整メニュー」を表示します。
- ⑤ サブディスプレイ ( 67ページ)  
ディスクのトラックNo.やラジオの周波数などを表示します。
- ⑥ 外光センサー ( 45ページ)  
周囲の明るさを感知します。
- ⑦ MD挿入口 ( 32ページ)  
MDを挿入します。
- ⑧ FLAP DOWNボタン ( 14ページ)  
TVモニターを一時的に手前に倒すときに使います。
- ⑨ OPEN/CLOSEボタン ( 13ページ)  
TVモニターを開閉します。
- ⑩ VIDEO IN  
ここに接続した映像はVTR2のソースになります。別売の接続ケーブル「KW-13JC」を使用して、外部ビデオ機器を接続することができます。
- ⑪ AUDIO IN  
ここに接続した音声はVTR2またはAUXのソースになります。別売の接続ケーブル「KW-13JC」を使用して、外部オーディオ機器を接続することができます。
- ⑫ ANGLEボタン ( 14ページ)  
TVモニターの角度を調整します。  
[ ANGLE ( + 側 ) ] 画面を上向きにするとき  
[ ANGLE ( - 側 ) ] 画面を下向きにするとき
- ⑬ SOURCEボタン ( 15ページ)  
ソース ( 音源・映像 ) を切り替えたり、ソースをOFFにします。
- ⑭ BAND/ESCAPEボタン ( 18ページ)  
バンドを切り替えたり、「オーディオメニュー」画面や「画質調整メニュー」画面が表示されているときに押すと、メニューは閉じます。
- ⑮ TI/CLOCKボタン ( 37ページ)  
交通情報を受信したり、サブディスプレイに時計を表示させることができます。
- ⑯ VOLUMEボタン ( 52ページ)  
[ VOL ( + 側 ) ] 音量を大きくするとき  
[ VOL ( - 側 ) ] 音量を小さくするとき
- ⑰ MD取り出しボタン ( 32ページ)  
MDを取り出します。
- ⑱ ATTボタン ( 52ページ)  
ソースの音量が約1/10になります。
- ⑲ リモコン受光部  
リモコンからの信号をここで受信します。
- ⑳ リセットボタン ( 72ページ)  
マイコンをリセットします。
- ㉑ AUDIOコントローラー/ENTERボタン ( 12ページ)  
「オーディオメニュー」の操作や選曲などに使います。

## 操作ボタン対応表

本書では、ナビゲーション本体に付属するリモコンとTVモニターに共通するボタンを、以下のように表記します。

ナビゲーション本体に 付属のリモコン	TVモニターのボタン	本書での表記
-	WIDE/V.ADJUST	[ WIDE ]
VOLUMEツマミ	VOLUMEボタン	[ VOLUME ]
NAVI/AVボタン 1	NAVI/AVボタン	[ NAVI/AV ]
SOURCEボタン	SOURCEボタン	[ SOURCE ]
▲ボタン	AUDIOコントローラー/ENTERボタンを 上に倒す	[ ▲ ]
▼ボタン	AUDIOコントローラー/ENTERボタンを 下に倒す	[ ▼ ]
◀ボタン	AUDIOコントローラー/ENTERボタンを 左に倒す	[ ◀ ]
▶ボタン	AUDIOコントローラー/ENTERボタンを 右に倒す	[ ▶ ]
AUDIO MENUボタン	AUDIOコントローラー/ENTERボタンを 押す	[ AUDIO MENU ]
BACKボタン	2	[ BACK ]
DISPLAYボタン 3	DISP/BACKLIGHTボタン	[ DISP ]
DDMボタン	DDM/CHANGEボタン	[ DDM ]
BAND/ESCAPEボタン	BAND/ESCAPEボタン	[ BAND/ESC ]

1 AVIC-H09/H07はV.CHANGEボタンです。

2 WIDE/V.ADJUSTボタンで、1つ前のメニュー画面に戻ることができます。

3 AVIC-H09/H07にはありません。

# TVモニターの立ち上げと調整のしかた

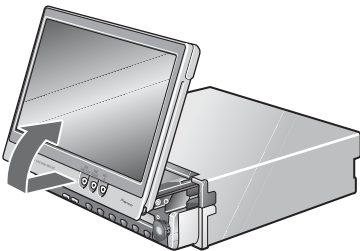
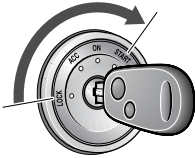
## ご注意

TVモニターの開閉動作中は、指などを挟まないようにご注意ください。

## TVモニターを立ち上げる

エンジンスイッチをONまたはACCにすると、TVモニターが自動的に立ち上がります。

### 1 車のエンジンをかける



本機に電源が入り、ソース画面が表示されます。

### メモ

- ナビゲーション画面に切り替えるには、[ NAVI/AV ] を押してください。
- TVモニターが車のコンソールやダッシュボードに当たる場合は、TVモニターの角度を調整してください。  
「TVモニターの角度を調整する」(次ページ)

- TVモニターを手動で立ち上げるには、TVモニターの [ OPEN/CLOSE ] を押してください。
- TVモニターが自動的に立ち上がらないときは、「OPEN/CLOSE」を「AUTO」にしてください。  
「TVモニターの自動開閉を設定する」(42P)
- 立ち上がっているTVモニターを後ろに下げることができません(セトバック機能)。  
「TVモニターを自動で後ろに下げる」(42P)
- TVモニター収納後にエンジンスイッチをOFFにしたときは、再度エンジンスイッチをONまたはACCにしても、TVモニターは自動的に立ち上がりません。TVモニターの [ OPEN/CLOSE ] を押してTVモニターを立ち上げてください。

## TVモニターを収納する

エンジンスイッチをOFFにすると、TVモニターが自動的に収納されます。

### メモ

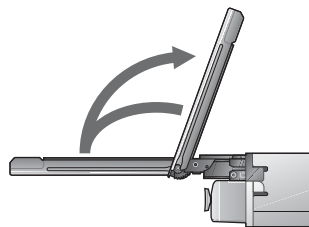
- TVモニターを手動で収納するには、TVモニターの [ OPEN/CLOSE ] を押してください。
- TVモニターが自動的に収納されないときは、「OPEN/CLOSE」を「AUTO」にしてください。  
「TVモニターの自動開閉を設定する」(42P)

### ご注意

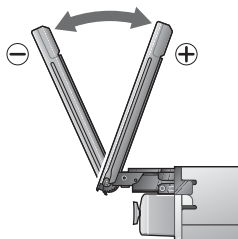
TVモニターが完全に収納されたことを確認してください。TVモニターが途中で止まったときは、そのままの状態しておかないでください。故障の原因になることがあります。

## TVモニターの角度を調整する

画面を見やすい角度に調整することができます。一度調整すれば、次回から同じ角度で立ち上げられます。



- 1 TVモニターが立ち上がった状態で、TVモニターの [ ANGLE ] を押して角度を調整する



[ ANGLE ( + 側 ) ] 画面を上向きに  
するとき

[ ANGLE ( - 側 ) ] 画面を下向きに  
するとき

### ご注意

モニターを直接つかんで、角度の調整をしないでください。強い力を加えると故障の原因になります。

## TVモニターを一時的に手前に倒す

TVモニターの背後にあるスイッチなどを操作したいときに、一時的にTVモニターを手前に倒すことができます。

- 1 TVモニターの [ FLAP DOWN ] を押す

TVモニターが手前に倒れ、10秒後に自動的に元に戻ります。

### メモ

10秒経過する前に元に戻したいときは、もう一度 [ FLAP DOWN ] を押してください。

### ご注意

TVモニターに強い力を加えたり、物を置いたりしないでください。故障の原因になります。

## 長時間録音されたMDの再生について

本機はMDLPに対応しています。長時間録音されているMDも再生することができます。

### MDLPについて

- MDLPとは、従来のMDよりも長い時間（2倍、4倍の時間）録音することができる圧縮方式です。
- 本機はMDのグループ機能に対応していません。グループ登録されたMDを再生すると、ディスクタイトルはグループ名などを含めた状態で表示されます。

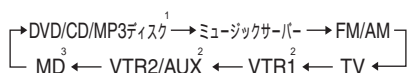
# ソースを切り替える

CDやミュージックサーバーなどの音源、およびDVDやビデオなどの映像をソースと呼びます。

ソースを切り替えると、画面にそれぞれの状態が表示されます。

**1** [ SOURCE ] を押して、ソースを切り替える

[ SOURCE ] を押すごとに、以下のように切り替わります。



ナビゲーション画面のときは、[ SOURCE ] を押すと音声のみ切り替わります。選んだソースの映像を見るには、[ NAVI/AV ] を押してソース画面に切り替えてください。

- 1 • DVD/CD/MP3のディスクが挿入されていない場合は、「ディスクが入っていません。」と表示されます。
- DVDは、AVIC-H9/H99/H09と組み合わせた場合に表示されます。

- MP3ディスクはAVIC-H9/H99またはAVIC-H09/H07を「HDDナビゲーションマップ Vol.2」以降にバージョンアップしたナビゲーションと組み合わせた場合です。

- 2 • 「入力設定」でVTR1、VTR2/AUXを「ON」にすると、VTR1、VTR2/AUXに切り替えることもできます。

「ビデオを見られるように設定する」(38P)

- VTR2の映像入力端子(VIDEO IN)に何も接続されていない場合は、AUXとして切り替わります。

- 3 MDは、AVIC-V7MDでのみ選択できます。

## メモ

- MDが挿入されていないときは、MDには切り替わりません。
- TVモニターを収納しているときでも切り替えることができます。

## ソースをOFFにする

**1** [ SOURCE ] をしばらく押し続ける

ソースがOFFになります。

もう一度[ SOURCE ] を押すと、OFFにする前のソース画面に戻ります。

## メモ

ソースをOFFにしても、ナビゲーションの音声案内は流れます。

## ソース画面に切り替える

ナビゲーション画面からソース画面（テレビ、ビデオ、DVD、CD、MP3ディスク、MD、ミュージックサーバー）に切り替えるには、以下のようにします。

### 1 [NAVI/AV] を押して映像を切り替える

[NAVI/AV] を押すごとに、以下のよう映像が切り替わります。

ナビゲーション画面



ソース画面



ソース画面に切り替えるノソースプレートを表示させる

## ソースプレートを手動で表示させる

ソースプレートには、現在選択されているソース名および内容（テレビであればチャンネル、ミュージックサーバーであればトラック番号または曲名など）が表示されます。ソースプレートを表示または消去するには、以下のようにします。

### 1 [DISP] を押す

[DISP] を押すごとに、ソースプレートが表示または消去されます。



#### メモ

- DVDビデオ、CD、MP3ディスク、ミュージックサーバーでは [BAND/ESC] を押してソースプレートを表示させることもできます。
- ソースプレートの表示は約8秒後に自動的に消えます。



# メニューを表示させる

各ソースの操作メニューを表示させるには、以下のようにします。

## 1

各ソースの画面で [ AUDIO MENU ] を押す

以下の「オーディオメニュー」が表示されます。

- ミュージックサーバー
- TV
- FM/AM
- DVD/CD/MP3
- MD (AVIC-V7MDのみ)
- VTR1、VTR2

「ビデオを見られるように設定する」(38P)



## 2

[ ▲ ] [ ▼ ] を押して項目を選び [ 決定 ] を押す

選んだ項目が実行されます。

例：[ AUDIO&DSP設定 ]



### メモ

- 「メニューを閉じる」、「戻る」を選ぶ、または [ BACK ] を押すと、前の画面に戻ります。
- 「オーディオメニュー」を閉じるには、[ BAND/ESC ] を押します。(操作が続けて行われない場合は、約30秒後に元の画面に戻ります。)

メニューを表示させる

# テレビの見かた

テレビを見るには、以下のようにします。

**1** [ SOURCE ] を押して、「TV」に切り替える  
ナビゲーション画面で「TV」にしたときは、音声のみ切り替わります。

**2** [ NAVI/AV ] を押す  
テレビの映像に切り替わります。

**メモ**

[ NAVI/AV ] を押すごとに、ナビゲーション画面とテレビ画面が切り替わります。

**3** [ BAND/ESC ] を押して、バンドを選ぶ  
バンド

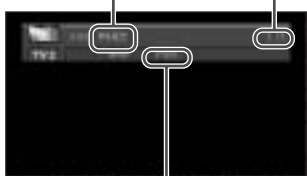


**メモ**

[ BAND/ESC ] を押すごとに、「TV1」と「TV2」が交互に切り替わります。(それぞれ12のチャンネルが用意されています。)

**4** [ ◀ ] [ ▶ ] を押して、チャンネルを選局する

放送局名 現在選局中のチャンネル



ステレオ表示

[ ◀ ] 前のチャンネルを選ぶとき

[ ▶ ] 次のチャンネルを選ぶとき

手動選局するには、[ ◀ ] [ ▶ ] を短めに押ししてください。1チャンネルずつ変化します。

自動選局するには、[ ◀ ] [ ▶ ] をしばらく押し続けて、ボタンから手を離してください。自動選局が始まります。(「SEEK」と表示されます。)

**メモ**

- 受信できるチャンネルは、1ch ~ 62chです。
- ステレオ放送を受信すると「STEREO」が表示され、音声多重放送を受信すると「BILINGUAL」が表示されます。
- 電波の弱い地域では、テレビの映像が乱れることがあります。
- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさえぎられやすい場所では、テレビの映りが悪くなる場合があります。
- 走行中にテレビの映像を見ることや一部の「オーディオメニュー」を開くことはできません。ただし、チャンネルの選局、および音声を聞くことはできます。
- 「TV1」、「TV2」にそれぞれ12局(合計24局)までチャンネルを記憶させることができます。

「受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる」(22P)、「手動でチャンネルを記憶させる」(23P)

- サブディスプレイには、次のように表示されます。



バンド

現在選局中のチャンネル

# 記憶されたチャンネルの呼び出しかた

あらかじめ記憶されているチャンネルを呼び出すことができます（プリセットチューニング）。

プリセットチューニングには、次の2つの方法があります。

- TVプリセットから呼び出す
- エリアプリセットから呼び出す

## メモ

本機には「TV1」と「TV2」の2つのバンドがあり、各バンドでTVプリセットとエリアプリセットを選ぶことができます。

便利な使いかた

ふだんお使いになっている地域のチャンネルは「TV1」にTVプリセットで記憶させておきます。旅行などで受信チャンネルの異なる地域に移動したときに、「TV2」にエリアプリセットで記憶させます。ふだんお使いになるチャンネルは「TV1」に残ったままです。

## TVプリセットチャンネル

次のいずれかの方法で記憶させたチャンネルのことです。

- BSSM 「受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる」(22P)
- マニュアルプリセット 「手動でチャンネルを記憶させる」(23P)

## エリアプリセットチャンネル

ナビゲーション本体があらかじめ記憶している、エリア別のチャンネルのことです。自車位置に応じたりストが自動的に選ばれます。旅行などで受信チャンネルの異なる地域に移動したときに使うと便利です。

## メモ

エリアプリセットの収録放送局は、2002年12月時点での情報に基づいて収録されています。

TV放送局の周波数（チャンネル）変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

## プリセットの種類を選ぶ

プリセットの種類の選びかたを、「TV+NAVI」のマルチ画面を例に説明します。

マルチ画面については、「ディスプレイ設定を変更する」(43P)を参照してください。

- 1 [ BAND/ESC ] を押して、プリセットの種類を変更するバンドを選ぶ
- 2 [ AUDIO MENU ] - 「TV」 - [ AUDIO MENU ] を押す  
「TV」メニューが表示されます。
- 3 「チャンネルリスト」を選んで [ AUDIO MENU ] を押す



- 4 [ ▲ ] [ ▼ ] を押してプリセットの種類を選び、[ BAND/ESC ] を押す

プリセット種類  
バンド

ch. L	ST [TV1]	←TV-1→	P, ch	
1	2	3	4	
5		6		
7		8		
9	10	11	12	

**メモ**

- 「マルチ設定」の設定（43P）によって、表示や操作のしかたが次のように異なります。

マルチ設定	プリセット種類		手順4で使用 するボタン
	TV	エリア	
「TV+NAVI」 「TV」	TV-1、 TV-2	AREA	[▲][▼]
「OFF」	TV1、 TV2	TV1-AREA、 TV2-AREA	[◀][▶]

- 「マルチ設定」が「TV+NAVI」、  
「TV」に設定されているとき、プリセットの種類を変更すると、マルチ画面が更新されます。
- エリアプリセットは、BSSM/マニュアルプリセットでチャンネルを記憶させると解除されます。
- サブディスプレイには、次のように表示されます。
  - TVプリセット：<sup>「BAND」</sup> $\overline{11}$  または  $\overline{12}$
  - エリアプリセット： $\overline{11}$

## プリセットチャンネルを順に呼び出す

TVプリセットまたはエリアプリセットから1局ずつ順番に呼び出すことによって、チャンネルを選択します。

**1** [BAND/ESC] を押して、バンドを選ぶ

**2** [▲][▼] を押して、チャンネルを呼び出す



エリアプリセット  
の場合は「AREA-  
PRESET」

プリセット  
チャンネル  
(エリアプリセッ  
トでは表示され  
ません)

[▲] 次のプリセットチャンネルを呼び出すとき

[▼] 前のプリセットチャンネルを呼び出すとき

## チャンネルリストから呼び出す

TVプリセットまたはエリアプリセットのチャンネルリストから任意の局を呼び出すことによって、チャンネルを選択します。「マルチ設定」の設定(43P)に応じて、以下の説明をお読みください。

- 「TV+NAVI」または「TV」のとき  
「マルチ画面の場合」(次項)
- 「OFF」のとき 「リスト画面の場合」  
(このページ右段)

### マルチ画面の場合

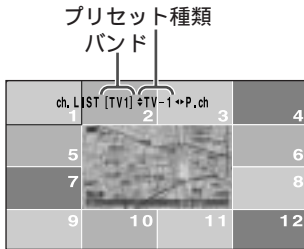
「TV+NAVI」のマルチ画面を例に説明します。

マルチ画面については、「ディスプレイ設定を変更する」(43P)を参照してください。

#### メモ

マルチ画面表示中は、自動で元の画面には戻りません。

### 1 プリセットの種類を選ぶ 19P



### 2 [◀][▶]を押して、見たいチャンネルを選ぶ

緑色の枠がマルチ画面を移動し、どのチャンネルが選ばれているかを確認できます。

### 3 [AUDIO MENU]を押す 選択が確定し、枠の色が青に変わります。

#### メモ

- 枠の色が青でも、[◀][▶]を押してチャンネルを選択できます。
- チャンネルを呼び出しても、環境や電波状況によっては受信できないことがあります。

### 4 [DISP]を押す 「TV」メニューから抜けます。

#### メモ

[BAND/ESC]を押して、「TV」メニューから抜けることもできます。

### リスト画面の場合

### 1 プリセットの種類を選ぶ 19P プリセット種類



### 2 [▲][▼]を押して、見たいチャンネルを選ぶ

### 3 [AUDIO MENU]を押す 選択が確定します。

#### メモ

チャンネルを呼び出しても、環境や電波状況によっては受信できないことがあります。

### 4 [BAND/ESC]を押して、「TV」メニューを閉じる

# テレビ受信に関する設定

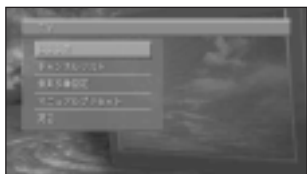
「TV」メニューでテレビ受信に関する設定（BSSM、マニュアルプリセット、音声多重設定）をします。

## 「TV」メニューを開く

**1** テレビの画面または音声のときに [ AUDIO MENU ] を押す  
「オーディオメニュー」が表示されます。

**2** [ ▲ ] [ ▼ ] を押して、「TV」にカーソルを合わせる

**3** [ AUDIO MENU ] を押す  
「TV」メニューが表示されます。



### メモ

- 操作が続けて行われない場合は、約30秒後に元の画面に戻ります。
- ナビゲーションの音声案内中は、「オーディオメニュー」は表示できません。

## 受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる

バンド（「TV1」、「TV2」）ごとにそれぞれ12局（合計24局）まで、受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させることができます（BSSM）。

### メモ

BSSMとは、Best Stations Sequential Memory（ベストステーションズシーケンシャルメモリー）の略です。

**1** [ BAND/ESC ] を押して、チャンネルを記憶させるバンドを選ぶ

**2** [ AUDIO MENU ] - 「TV」 - [ AUDIO MENU ] を押す  
「TV」メニューが表示されます。

**3** 「BSSM」を選んで [ AUDIO MENU ] を押す



BSSM実行画面が表示されます。

## 4

[▲] を押す  
BSSMが始まり、「BSSM実行中」  
と表示されます。



BSSMを中断するには、[▼] を押  
します。

終了すると、チャンネルリストが表  
示されます。

## メモ

- 受信状態の良いチャンネルが12局より少ない場合は、前回記憶させたチャンネルが残ることがあります。
- 「マルチ設定」の設定 ( 43P ) によって、BSSM終了後に表示される画面が異なります。
- 組み合わせたナビゲーションによっては、BSSM中は「BSSM」が点滅します。
- サブディスプレイには、「BSSM」と表示されます。

## 5

[ BAND/ESC ] を押して、「TV」  
メニューを閉じる  
チャンネルの呼び出しかたについ  
ては、「記憶されたチャンネルの呼び  
出しかた」( 19P ) を参照してくだ  
さい。

## 手動でチャンネルを記憶させる

バンド(「TV1」、「TV2」)ごとにそれ  
ぞれ12局(合計24局)まで、手動で  
チャンネルを記憶させることができま  
す(マニュアルプリセット)。「マルチ  
設定」の設定 ( 43P ) に応じて、以  
下の説明をお読みください。

- 「TV+NAVI」または「TV」のとき  
「マルチ画面の場合」(次項)
- 「OFF」のとき 「リスト画面の場合」  
(次ページ)

## マルチ画面の場合

「TV+NAVI」のマルチ画面を例に説明し  
ます。

マルチ画面については、「ディスプレイ設定  
を変更する」( 43P ) を参照してください。

## メモ

マルチ画面表示中は、自動で元の画面には戻  
りません。

## 1

[ BAND/ESC ] を押して、  
チャンネルを記憶させるバンド  
を選ぶ

## 2

[ AUDIO MENU ] - 「TV」 -  
[ AUDIO MENU ] を押す  
「TV」メニューが表示されます。

## 3

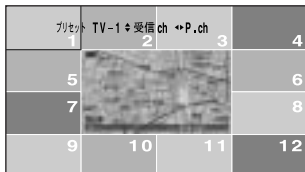
「マニュアルプリセット」を選ん  
で [ AUDIO MENU ] を押す



## メモ

エリアプリセットの場合はメッセー  
ジが表示され、TVプリセットに切り  
替わります。

- 4** [◀][▶]を押して、記憶させたいプリセットチャンネルを選ぶ



緑色の枠がマルチ画面を移動し、どのプリセットチャンネルが選ばれているかを確認できます。

「TV」の場合

上段 P1、P2、P3、P4

中段 P5、P6、P7、P8

下段 P9、P10、P11、P12

「TV + NAVI」の場合

上段 P1、P2、P3、P4

中上段 P5、P6

中下段 P7、P8

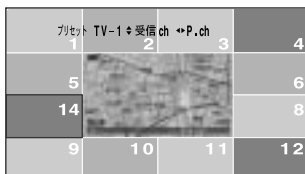
下段 P9、P10、P11、P12

- 5** [ ] [ ]を押して、選局する  
 [▲] 次のチャンネルを選ぶとき  
 [▼] 前のチャンネルを選ぶとき

**メモ**

[▲][▼]をしばらく押し続けると、受信できる放送局を自動的に探します。

- 6** [AUDIO MENU]を押す  
 チャンネルが記憶され、枠の色が赤に変わります。



**メモ**

プリセットの操作を続けるときは、手順4～6を繰り返してください。

- 7** [BAND/ESC]を押して、「TV」メニューを閉じる  
 チャンネルの呼び出しかたについては、「記憶されたチャンネルの呼び出しかた」(19P)を参照してください。

### リスト画面の場合

- 1** [BAND/ESC]を押して、チャンネルを記憶させるバンドを選ぶ
- 2** [AUDIO MENU] - 「TV」 - [AUDIO MENU]を押す  
 「TV」メニューが表示されます。
- 3** 「マニュアルプリセット」を選んで [AUDIO MENU]を押す



- 4** [▲][▼]を押して、記憶させたいプリセットチャンネルを選ぶ



- 5** [◀][▶]を押して、選局する  
 [▶] 次のチャンネルを選ぶとき  
 [◀] 前のチャンネルを選ぶとき

**メモ**

[◀][▶]をしばらく押し続けると、受信できる放送局を自動的に探します。



- 6** [ AUDIO MENU ] を押す  
チャンネルが記憶されます。



**メモ**

- プリセットの操作を続けるときは、手順4～6を繰り返してください。
- エリアプリセットの場合はメッセージが表示され、TVプリセットに切り替わります。

- 7** [ BAND/ESC ] を押して、「TV」メニューを閉じる  
チャンネルの呼び出しかたについては、「記憶されたチャンネルの呼び出しかた」(19P)を参照してください。

**音声多重放送の副音声を聞く**

音声多重放送(2か国語放送など)を受信しているときは、主音声と副音声を切り替えることができます。

**メモ**

- 音声多重放送には、番組の内容によって次のような種類があります。

主音声	副音声
日本語	外国語
外国語	日本語
日本語	日本語による解説

- 「MAIN + SUB」の場合、左側スピーカーから主音声、右側スピーカーから副音声が出力されます。

- 1** [ AUDIO MENU ] - 「TV」 - [ AUDIO MENU ] を押す  
「TV」メニューが表示されます。

- 2** 「音声多重設定」を選んで [ AUDIO MENU ] を押す

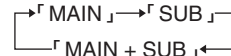


音声の切り替え画面が表示されます。

- 3** [ ◀ ] [ ▶ ] を押して、聞きたい音声を選ぶ



[ ◀ ] [ ▶ ] を押すごとに、以下のよう  
に切り替わります。



「MAIN」 主音声

「SUB」 副音声

「MAIN + SUB」 主音声 + 副音声

- 4** [ BAND/ESC ] を押して、「TV」メニューを閉じる

# ラジオの聞きかた

ラジオを聞くには、以下のようにします。

**1** [ SOURCE ] を押して、「FM/AM」に切り替える

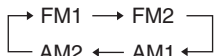
**2** [ BAND/ESC ] を押して、バンドを選ぶ

バンド

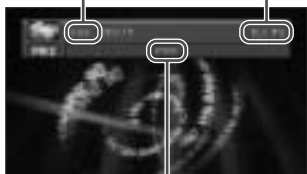


**メモ**

[ BAND/ESC ] を押すごとに、以下のようにバンドが切り替わります。



**3** [ ◀ ] [ ▶ ] を押して、選局する  
放送局名 現在選局中の周波数



ステレオ表示

[ ◀ ] 低い周波数を選ぶとき

[ ▶ ] 高い周波数を選ぶとき

手動選局するには、[ ◀ ] [ ▶ ] を短めに押してください。1ステップずつ周波数が変化します。

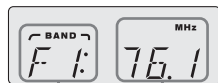
自動選局するには、[ ◀ ] [ ▶ ] をしばらく押し続けて、ボタンから手を離してください。自動選局が始まります。（「SEEK」と表示されます。）

**メモ**

- バンドごとに6局（FM、AMそれぞれ合計12局）まで放送局を記憶させることができます。

「受信状態の良い放送局を自動的に記憶させる」(29P) 「手動で放送局を記憶させる」(30P)

- サブディスプレイには、次のように表示されます。



バンド

現在選局中の周波数

# 記憶された放送局の呼び出しがた

あらかじめ記憶されている放送局を呼び出すことができます（プリセットチューニング）。

プリセットチューニングには、次の2つの方法があります。

- ユーザープリセットから呼び出す
- エリアプリセットから呼び出す

## メモ

本機には「FM1」（「AM1」）と「FM2」（「AM2」）の2つのバンドがあり、各バンドでユーザープリセットとエリアプリセットを選ぶことができます。

便利な使いかた

ふだんお使いになっている地域の放送局は「FM1」（「AM1」）にユーザープリセットで記憶させておきます。旅行などで受信周波数の異なる地域に移動したときに、「FM2」（「AM2」）にエリアプリセットで記憶させます。ふだんお使いになる放送局は「FM1」（「AM1」）に残ったままです。

## ユーザープリセット放送局

次のいずれかの方法で記憶させた放送局のことです。

- BSM 「受信状態の良い放送局を自動的に記憶させる」(29P)
- マニュアルプリセット 「手動で放送局を記憶させる」(30P)

## エリアプリセットチャンネル

ナビゲーション本体があらかじめ記憶している、エリア別の放送局のことです。自車位置に応じたリストが自動的に選ばれます。旅行などで受信周波数の異なる地域に移動したときに使うと便利です。

## プリセットの種類を選ぶ

**1** [ BAND/ESC ] を押して、プリセットの種類を変更するバンドを選ぶ

**2** [ AUDIO MENU ] - 「FM」（「AM」） - [ AUDIO MENU ] を押す

**3** 「チャンネルリスト」を選んで [ AUDIO MENU ] を押す

**4** [ ◀ ] [ ▶ ] を押してプリセットの種類を選び、[ AUDIO MENU ] を押す  
プリセット種類



## メモ

- 「FM1」または「FM2」はユーザープリセット、「FM1-AREA」または「FM2-AREA」はエリアプリセットを示します。
- エリアプリセットは、BSM/マニュアルプリセットで放送局を記憶させると解除されます。
- サブディスプレイには、次のように表示されます。
  - ユーザープリセット：FM1 または FM2
  - エリアプリセット：FM

## プリセット放送局を順に呼び出す

ユーザープリセットまたはエリアプリセットから1局ずつ順番に呼び出すことによって、放送局を選択します。

### メモ

エリアプリセットからプリセット放送局を呼び出すときは、手順1の操作は不要です。手順2から操作してください。

**1** [ BAND/ESC ] を押して、バンドを選ぶ

**2** [ ▲ ][ ▼ ] を押して、放送局を呼び出す

プリセット放送局（エリアプリセットでは表示されません）



エリアプリセットの場合は「AREA-PRESET」

[ ▲ ] 次のプリセット放送局を呼び出すとき

[ ▼ ] 前のプリセット放送局を呼び出すとき

## プリセット放送局のリストから呼び出す

ユーザープリセットまたはエリアプリセットの放送局リストから任意の局を呼び出すことによって、放送局を選択します。

**1** プリセットの種類を選ぶ  
前ページ

プリセットの種類



**2** [ ▲ ][ ▼ ] を押して放送局を選び、[ AUDIO MENU ] を押す

### メモ

放送局を呼び出しても、環境や電波状況によっては受信できないことがあります。

**3** [ BAND/ESC ] を押す  
「FM」（「AM」）メニューから抜けます。

# ラジオ受信に関する設定

FMまたはAMメニューでラジオ受信に関する設定（BSM、マニュアルプリセット、FMダイバーシティ設定）をします。

## 「FM」（「AM」）メニューを開く

- 1 FM（AM）音声のときに [ AUDIO MENU ] を押す  
「オーディオメニュー」が表示されます。
- 2 [ ▲ ] [ ▼ ] を押して、「FM」（「AM」）にカーソルを合わせる
- 3 [ AUDIO MENU ] を押す  
「FM」（「AM」）メニューが表示されます。



### メモ

- 操作が続けて行われな場合は、約30秒後に元の画面に戻ります。
- ナビゲーションの音声案内中は、「オーディオメニュー」は表示できません。

## 受信状態の良い放送局を自動的に記憶させる

バンドごとに6局（FM、AMそれぞれ合計12局）まで、受信状態の良い放送局を自動的に記憶させることができます（BSM）。

### メモ

BSMとは、Best Stations Memory（ベストステーションズメモリー）の略です。

- 1 [ BAND/ESC ] を押して、放送局を記憶させるバンドを選ぶ
- 2 [ AUDIO MENU ] - 「FM」（「AM」） - [ AUDIO MENU ] を押す  
「FM」（「AM」）メニューが表示されます。
- 3 「BSM」を選んで [ AUDIO MENU ] を押す

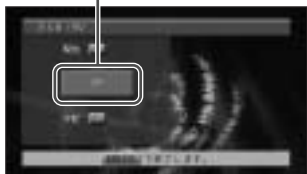


BSM実行画面が表示されます。

つづく→

「FM」（「AM」）メニューを開く／受信状態の良い放送局を自動的に記憶させる

- 4** [▲]を押す  
BSMが始まり、「BSM実行中」と表示されます。



BSMを中断するには、[▼]を押します。

終了すると、放送局リストが表示されます。

#### メモ

- 受信状態の良い放送局が6局より少ない場合は、前回記憶させた放送局が残ることがあります。
- 組み合わせたナビゲーションによっては、BSM中は「BSM」が点滅します。
- サブディスプレイには、「BSM」と表示されます。

- 5** [BAND/ESC]を押して、「FM」(「AM」)メニューを閉じる  
放送局の呼び出しかたについては、「記憶された放送局の呼び出しかた」(27P)を参照してください。

### 手動で放送局を記憶させる

バンドごとに6局(FM、AMそれぞれ合計12局)まで、手動で放送局を記憶させることができます(マニュアルプリセット)。

- 1** [BAND/ESC]を押して、放送局を記憶させるバンドを選ぶ

- 2** [AUDIO MENU] - 「FM」(「AM」) - [AUDIO MENU]を押す  
「FM」(「AM」)メニューが表示されます。

- 3** 「マニュアルプリセット」を選んで [AUDIO MENU]を押す



- 4** [▲][▼]を押して、記憶させたい放送局番号を選ぶ



緑色の枠がマルチ画面を移動し、どのプリセットチャンネルが選ばれているかを確認できます。

- 5** [◀][▶]を押して、選局する  
[◀] 低い周波数を選ぶとき  
[▶] 高い周波数を選ぶとき

#### メモ

[◀][▶]をしばらく押し続けると、受信できる放送局を自動的に探します。

- 6** [ AUDIO MENU ] を押す  
放送局が記憶されます。



#### メモ

- プリセットの操作を続けるときは、手順4～6を繰り返してください。
- エリアプリセットの場合はメッセージが表示され、ユーザープリセットに切り替わります。

- 7** [ BAND/ESC ] を押して、「FM」  
（「AM」）メニューを閉じる  
放送局の呼び出しかたについては、  
「記憶された放送局の呼び出しかた」  
（27P）を参照してください。

## FMダイバーシティを設定する

FMダイバーシティとは、FM放送の電波を2つのアンテナで別々に受信し、強いほうの電波を受け取る受信方式のことです。

#### メモ

- FMダイバーシティの設定を「ON」にすると、メインアンテナの受信感度が悪いときは、サブアンテナに切り替えて受信します。
- FMダイバーシティのシステムを組んでいないときは、FMダイバーシティの設定を「OFF」にしてください。「ON」にすると、感度が悪くなったり、雑音が増加したりすることがあります。
- AM放送の受信ではFMダイバーシティの設定をすることはできません。

- 1** [ BAND/ESC ] を押して、バンドを選ぶ

- 2** [ AUDIO MENU ] - 「FM」 -  
[ AUDIO MENU ] を押す  
「FM」メニューが表示されます。

- 3** 「FMダイバーシティ設定」を選んで [ AUDIO MENU ] を押す



FMダイバーシティ設定画面が表示されます。

- 4** [ ▲ ] を押して、ダイバーシティ  
設定を「ON」にする



「OFF」にするには、[ ▼ ] を押します。

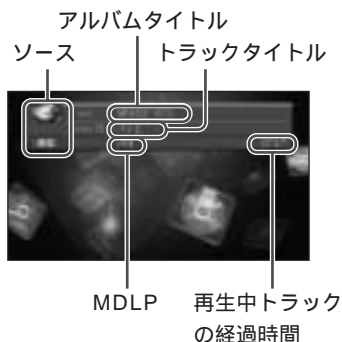
- 5** [ BAND/ESC ] を押して、「FM」  
メニューを閉じる

FMダイバーシティを設定する

# MDの聞きかた

MDを聞くには、次のようにします。

- 1 MD挿入口に、MDのラベル面を上にしてMDを差し込む  
自動的に再生が始まります。



### ご注意

MD挿入口にはMD以外のものを入れないでください。故障の原因になります。

### メモ

- MDシャッターが閉まっていることを確認してから挿入してください。
- MDが挿入されていれば、[SOURCE]を押してソースをMDに切り替えることもできます。
- サブディスプレイには、次のように表示されます。



トラックNo

- 2 [◀][▶]を押して、聞きたい曲を選ぶ

[◀] 前の曲を選ぶとき

[▶] 次の曲を選ぶとき

早戻しする場合は、[◀]をしばらく押し続けます。

早送りする場合は、[▶]をしばらく押し続けます。

## MDの終了のしかた

- 1 MD挿入口の右下の「▲」を押して、MDを取り出す  
再生を中止して、MDが出てきます。

### メモ

- 出てきたMDは、すぐに取り出して保管してください。
- MDを挿入したまま、他のソースに切り替えたり、ソースをOFFにすることもできます。



# MDのいろいろな再生のしかた

リピート再生、ランダム再生、スキャン再生に加えて、リストから聞きたい曲を選んで再生したり、再生を一時停止させることができます。これらの機能は「MD」メニューから操作します。

## 「MD」メニューを開く

**1** MD再生中に [ AUDIO MENU ] を押す  
「オーディオメニュー」が表示されます。

**2** [ ▲ ] [ ▼ ] を押して、「MD」にカーソルを合わせる

**3** [ AUDIO MENU ] を押す  
「MD」メニューが表示されます。



### メモ

- メニュー操作が続けて行われない場合は、約30秒後に元の画面に戻ります。
- ナビゲーションの音声案内中は、「オーディオメニュー」は表示できません。

## リピート再生

再生中の曲を繰り返し聞くことができます。

**1** [ AUDIO MENU ] - 「MD」 - [ AUDIO MENU ] を押す  
前項の「「MD」メニューを開く」

**2** 「リピート」を選んで [ AUDIO MENU ] を押す



**3** [ ▲ ] を押して、「TRACK REPEAT」にする



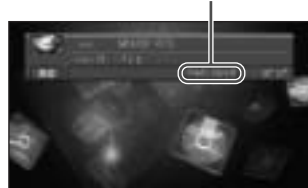
「OFF」にするには [ ▼ ] を押します。

### メモ

AVIC-H99/H09/H07と組み合わせた場合は、「ON」/「OFF」と表示されます。

**4** [ BAND/ESC ] を押して、「MD」メニューを閉じる

リピート再生中の表示



**メモ**

- リピート再生中に以下の操作を行うと、リピート再生が中止されます。
  - ランダム再生
  - スキャン再生
  - トラックリストからの選曲による再生 「リストから聞きたい曲を探す」(次ページ)
  - 曲の切り替え
  - 早送り/早戻し
- サブディスプレイには、「RPT」と表示されます。

## ランダム再生

再生中のMDを、曲順を変えて再生することができます。

- 1** [ AUDIO MENU ] - 「 MD 」 - [ AUDIO MENU ] を押す  
「 MD 」メニューを開く」  
(前ページ)

- 2** 「ランダム」を選んで [ AUDIO MENU ] を押す



- 3** [ ▲ ] を押して、「 DISC RANDOM 」にする



「 OFF 」にするには [ ▼ ] を押します。

**メモ**

AVIC-H99/H09/H07と組み合わせた場合は、「 ON 」 / 「 OFF 」と表示されます。

- 4** [ BAND/ESC ] を押して、「 MD 」メニューを閉じる

ランダム再生中の表示



**メモ**

- ランダム再生中に以下の操作を行うと、ランダム再生が中止されます。
  - リピート再生
  - スキャン再生
  - トラックリストからの選曲による再生 「リストから聞きたい曲を探す」(次ページ)
- サブディスプレイには、「 RDM 」と表示されます。

## スキャン再生

曲の始めの部分を、約10秒間ずつ聞くことができます。聞きたい曲を探すときに使います。

- 1** [ AUDIO MENU ] - 「 MD 」 - [ AUDIO MENU ] を押す  
「 MD 」メニューを開く」  
(前ページ)

- 2** 「スキャン」を選んで [ AUDIO MENU ] を押す



### 3 [▲]を押して、「TRACK SCAN」にする

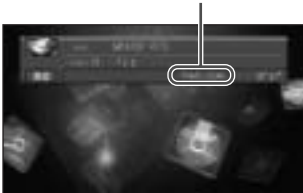


「OFF」にするには[▼]を押します。

#### メモ

- AVIC-H99/H09/H07と組み合わせた場合は、「ON」/「OFF」と表示されます。
- スキャン再生を始めてから約30秒で、通常画面に戻ります(「SCAN」と表示されます)。
- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

スキャン再生中の表示



- サブディスプレイには、「SCAN」と表示されます。

### 4 聞きたい曲が再生されたら、[▼]を押して、スキャンを「OFF」にする

スキャン設定画面が表示されていない場合は、手順1から操作し、手順3でスキャンを「OFF」にします。

### 5 [BAND/ESC]を押して、「MD」メニューを閉じる

#### メモ

スキャン再生中に以下の操作を行うと、スキャン再生が中止されます。

- リピート再生
- ランダム再生
- トラックリストからの選曲による再生 「リストから聞きたい曲を探す」(次項)
- 曲の切り替え
- 早送り/早戻し
- ソースの切り替え
- 電源OFF(エンジンOFF)

### リストから聞きたい曲を探す

曲名をリスト表示して、選曲することができます(トラックリスト)。

#### 1 [AUDIO MENU] - 「MD」 - [AUDIO MENU]を押す 「MD」メニューを開く(33P)


#### 2 「トラックリスト」を選んで [AUDIO MENU]を押す



つづく→

リストから聞きたい曲を探す

3

聞きたいタイトルにカーソルを合わせて、[ AUDIO MENU ] を押す  
選んだ曲が再生され、再生中の曲に  が表示されます。  
トラックタイトル



[▲] カーソルが上に移動する

[▼] カーソルが下に移動する

[◀] リスト戻し

[▶] リスト送り

#### メモ

- リストは一度に6曲表示できます。前後のリストは、[◀][▶]を押して表示させます。
- 表示中のリストの1曲目または6曲目を選択しているときに[▲]または[▼]を押すと、リストの前ページまたは次ページに送ることができます。
- タイトルは、全角で16文字（半角で32文字）まで表示できます。ただし、全角と半角を混在させることはできません。
- タイトルが記憶されていないときは、「No Title」と表示されます。
- 一部、表示できない文字があります。

4

[ BAND/ESC ] を押して、「MD」メニューを閉じる

## 再生を一時停止する

MDの再生を一時停止します（ポーズ）。

1

[ AUDIO MENU ] - 「CD」 - [ AUDIO MENU ] を押す  
「「MD」メニューを開く」(33P)

2

「ポーズ」を選んで [ AUDIO MENU ] を押す



3

[▲] を押して、ポーズを「ON」にする



「OFF」にするには[▼]を押します。

4

[ BAND/ESC ] を押して、「MD」メニューを閉じる

ポーズ中の表示



#### メモ

- ポーズ中に以下の操作を行うと、ポーズが解除されます。
  - ソースの切り替え
  - 電源OFF（エンジンOFF）
- サブディスプレイには、「PAUSE」と表示されます。

# 交通情報を受信する

交通情報を受信するには、次のようにします。

## メモ

- この機能は、どのソースが選択されていても、またはソースがOFFでも操作できます。
- TVモニターを収納しているときでも使えます。

## 1 本体の [ TI ] を押して、ソースを交通情報に切り替える

AM1,620kHzの交通情報を受信します。

## 2 [ ◀ ] [ ▶ ] を押して、周波数を切り替える



[ ◀ ] 1,620kHzにするとき

[ ▶ ] 1,629kHzにするとき

## メモ

- 交通情報を受信しているときに音量を調整すると、交通情報用の音量として設定されます。別のソースに切り替えて音量を調整し、次に交通情報を受信すると前回設定した音量で聞くことができます。
- 交通情報を受信しているときは、「オーディオメニュー」の「交通情報」、「AUDIO&DSP設定」、「EQカーブ選択」を選ぶことはできません。
- サブディスプレイには、次のように表示されます。



受信を中止するには

もう一度本体の [ TI ] を押すと、交通情報を受信する前のソースに戻ります。

## メモ

[ SOURCE ] を押して受信を中止することもできます。この場合は、直前に選択されていたソースの次のソースに切り替わります。

# ビデオを見る

VTR1、VTR2に接続したポータブルビデオなどを見ることができます。

## ビデオを見られるように設定する

接続したポータブルビデオなどを見られるように設定します。

### メモ

初期設定では、「VTR1」、「VTR2/AUX」ともにOFFに設定されています。

**1** 各ソース画面で [ AUDIO MENU ] を押す  
「オーディオメニュー」が表示されます。

**2** 「システム設定」を選んで [ AUDIO MENU ] を押す

**3** 「AV入力設定」を選んで [ AUDIO MENU ] を押す



AV入力設定画面が表示されます。

**4** [ ▲ ] [ ▼ ] を押して、設定する項目にカーソルを合わせる



**5** [ ▶ ] を押して、VTRを「ON」にする



「OFF」にするには [ ◀ ] を押します。

「ON」ビデオおよびAUXの映像や音声に切り替わる

「OFF」ビデオおよびAUXの映像や音声に切り替わらない

**6** [ BAND/ESC ] を押して、「オーディオメニュー」を閉じる

### メモ

- VTR2/AUXの設定をONにしたとき、本機の映像入力端子に外部機器を接続しているとソースは「VTR2」と表示され、接続されていないと「AUX」と表示されます。
- AVIC-H9/H99またはAVIC-H09/H07を「HDDナビゲーションマップVol.2」以降にバージョンアップしたナビゲーションと組み合わせている場合、VTR1で「Back Camera」を選ぶことができます。「Back Camera」は、VTR1にバックカメラを接続したときに選択します。「バックカメラを組み合わせる」(66P)
- サブディスプレイには、次のように表示されます。
  - VTR1 : 「VTR1」
  - VTR2 : 「VTR2」
  - AUX : 「AUX」

## ビデオの見かた

ビデオ映像を見るには、次のようにします。

- 1 [SOURCE]を押して、「VTR1」または「VTR2」に切り替える

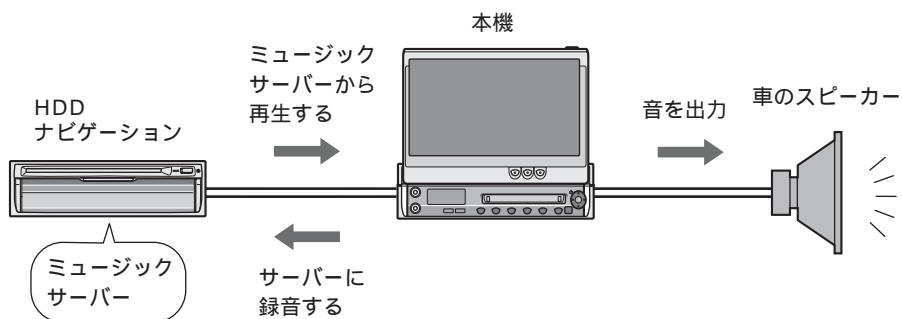


### メモ

- 「AV入力設定」でVTR1、VTR2が「OFF」になっているときは、VTR1、VTR2に切り替わりません。
- 「AV入力設定」を「Back Camera」に設定していると、VTR1には切り替わりません。
- ナビゲーション画面のときに、ソースを「VTR1」または「VTR2」にすると、音声のみ切り替わります。
- ナビゲーション画面からビデオ画面に切り替えるには、[NAVI/AV]を押します。

## ミュージックサーバーに録音する

本機から出力されるテレビ、FM/AM、ビデオ、MD、交通情報の音声は、HDDナビゲーション本体のミュージックサーバーに録音することができます。ミュージックサーバーの再生については、ナビゲーション本体の『オーディオブック』を参照してください。



### メモ

AVIC-H9/H99/H09の場合は、リモコンをオーディオ・DVD操作モード以外にしてください。

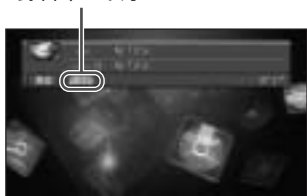
### メモ

テレビ、FM/AM、ビデオ、MD、交通情報の録音では、1回の録音で1つのトラックデータが作成されます。

**1** [SOURCE] を押して、録音するソースに切り替える

**2** [録音/削除] を押す  
録音が始まります。

録音中の表示



録音を停止するには  
[録音/削除] を押すか、他のソースに切り替えます。



## 録音時間を設定する

録音時間を10分、30分、50分、70分、90分の中から設定できます。設定された時間になると、自動的に録音が停止します。

### メモ

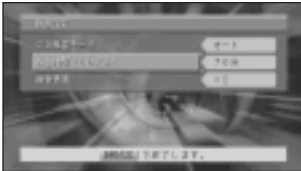
初期値は「70分」です。

**1** [ AUDIO MENU ] を押す

**2** 「ミュージックサーバー」を選んで [ AUDIO MENU ] を押す  
「ミュージックサーバー」メニューが表示されます。

**3** 「録音設定」を選んで [ AUDIO MENU ] を押す

**4** 「録音時間 (CD以外)」を選んで [ AUDIO MENU ] を押す



**5** 時間を選んで [ AUDIO MENU ] を押す



**6** [ BAND/ESC ] を押して  
「ミュージックサーバー」  
メニューを閉じる

# TVモニターの設定

## TVモニターの自動開閉を設定する

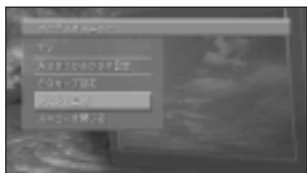
エンジンスイッチをONまたはACCにしたときに、TVモニターを自動的に立ち上げるかどうかを設定することができます。

### メモ

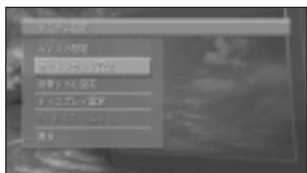
初期値は「AUTO」です。

**1** 各ソースの画面で [ AUDIO MENU ] を押す  
「オーディオメニュー」が表示されます。

**2** 「システム設定」を選んで [ AUDIO MENU ] を押す



**3** 「オートフラップ設定」を選んで [ AUDIO MENU ] を押す



**4** 「OPEN/CLOSE」を選んで [ AUDIO MENU ] を押す

**5** [ ◀ ] [ ▶ ] を押して、好みの設定を選ぶ



[ ◀ ] MANUALにするとき

[ ▶ ] AUTOにするとき

「AUTO」 エンジンスイッチをONまたはACCにしたときに、TVモニターを自動的に立ち上げる

「MANUAL」TVモニターの [ OPEN/CLOSE ] を押して、立ち上げる

**6** [ BAND/ESC ] を押して、「オーディオメニュー」を閉じる

## TVモニターを自動で後ろに下げる

TVモニターを立ち上げた後、TVモニターを自動的に後ろに下げるかどうかを設定することができます(セットバック機能)。

### メモ

- AVIC-H9と組み合わせた場合のみ設定できます。
- 初期値は「OFF」です。

**1** ソースの画面で [ AUDIO MENU ] を押す  
「オーディオメニュー」が表示されます。

**2** 「システム設定」を選んで [ AUDIO MENU ] を押す

- 3** 「オートフラップ設定」を選んで  
[ AUDIO MENU ] を押す

- 4** 「SET BACK」を選んで  
[ AUDIO MENU ] を押す



- 5** [ ▶ ] を押して、「ON」にする



「OFF」にするには、[ ◀ ] を押します。

- 6** [ BAND/ESC ] を押して、  
「オーディオメニュー」を閉じる

#### メモ

TVモニターを後ろに下げたときにTVモニターがダッシュボードの突起物などに当たると、TVモニターの角度が変わったり、角度調整できないことがあります。このような場合は、「SET BACK」を「OFF」に設定してください。

## ディスプレイ設定を変更する

マルチ画面やピクチャーサイドピクチャーなどで、画面の分割表示に関する設定を変更することができます。AVIC-H9/H99またはAVIC-H09/H07を「HDDナビゲーションマップVol.2」以降にバージョンアップしたナビゲーション本体と組み合わせている場合のみ可能です。

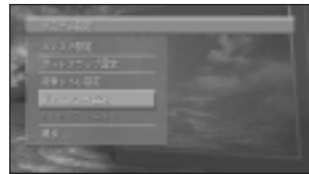
#### メモ

AVIC-H99/H09/H07と組み合わせた場合は、「サブディスプレイディマー設定」は表示されません。「サブディスプレイディマー設定」は「ON」固定になります。

- 1** ソースの画面で [ AUDIO MENU ] を押す  
「オーディオメニュー」が表示されます。

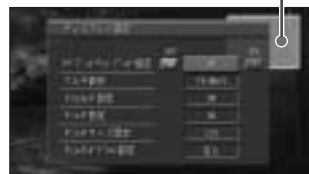
- 2** 「システム設定」を選んで  
[ AUDIO MENU ] を押す

- 3** 「ディスプレイ設定」を選んで  
[ AUDIO MENU ] を押す



- 4** [ ▲ ] [ ▼ ] を押して、変更する  
項目にカーソルを合わせる

PinPの現在の設定内容で子画面（灰色）が表示されます。



## 5 [◀][▶]を押して、設定を変更する

「サブディスプレイディマー設定」車のライトを点灯すると、サブディスプレイが自動的に暗くなるようするかどうかを設定します。周囲が暗くなったときに、サブディスプレイが明るくなりすぎないようにするための機能です。

設定値	「ON」 (初期値)	ディマーが働きます。
	「OFF」	ディマーは働きません。

「マルチ設定」チャンネルリストの表示方法を設定します。

設定値	「TV+NAVI」 (初期値)	中央にナビゲーション画面、周囲にテレビのマルチ画面が表示されます。 
	「TV」	テレビのマルチ画面が表示されます。 
	「OFF」	マルチ画面は表示されず、リストで表示されます。

「PsideP設定」画面を左右2分割して、ナビゲーション画面とソース画面を同時に表示できるように設定します。

設定値	「ON」 (初期値)	ピクチャーサイドピクチャー表示をします。
	「OFF」	ピクチャーサイドピクチャー表示をしません。

「PinP設定」ナビゲーション画面の中に子画面を表示できるように設定します。(ナビゲーション画面は子画面にできません。)

設定値	「ON」 (初期値)	ピクチャーインピクチャー表示をします。
	「OFF」	ピクチャーインピクチャー表示をしません。

「PinPサイズ設定」「PinP設定」が「ON」のとき、映像(DVD、ビデオ、テレビ)の子画面の大きさを設定します。音声のみのソース(CD、ミュージックサーバーなど)は「1/16」に固定です。

設定値	「1/4」	1/4の大きさで表示します。
	「1/9」 (初期値)	1/9の大きさで表示します。
	「1/16」	1/16の大きさで表示します。

「PinPポジション設定」「PinP設定」が「ON」のとき、子画面を表示する位置を設定します。

設定値	「右上」 (初期値)	右上に表示します。
	「右下」	右下に表示します。
	「左下」	左下に表示します。
	「左上」	左上に表示します。

### メモ

[DDM]を長押しすることにより、子画面の位置を移動することもできます。「子画面の位置を移動する」(49P)

## 6

[BAND/ESC]を押して、「オーディオメニュー」を閉じる

## 画質を調整する

## メモ

バックカメラの「画質調整メニュー」は、組み合わせたナビゲーションによって、以下のように表示のしかたが異なります。

AVIC-H9と組み合わせた場合：[ WIDE ] を長押しして「画質調整メニュー」を表示させた後、さらに [ WIDE ] を長押しする。

AVIC-H99/H09/H07と組み合わせた場合：バックカメラ映像の表示中に、[ WIDE ] を長押しして「画質調整メニュー」を表示させる。

## 黒の濃さやコントラストを調整する

映像の黒の濃さ、明暗（コントラスト）を調整します。

## メモ

- 周囲が明るいとき（昼間☀黄）と暗いとき（夜間🌙青）の調整値を個別に記憶させることができます。
- 外光センサーで周囲の明るさを感知し、明るいときと暗いときの設定を自動的に切り替えます。
- ナビゲーション、テレビ、ビデオ、DVDなどの映像ごとに、調整値を記憶させることができます。
- バックカメラはVTR1の設定として記憶されます。
- ピクチャーサイドピクチャーとピクチャーインピクチャーの画質は、ナビゲーション画面の設定が反映されます。
- マルチ画面はテレビの設定が反映されます。

## 1

調整したい映像の表示画面で、TVモニターの [ WIDE ] をしばらく押し続ける

「画質調整メニュー」が表示されます。メニュー操作が続けて行われない場合は、約30秒後に元の画面に戻ります。

## 2

「黒の濃さ」または「コントラスト」を選ぶ

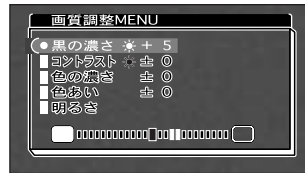


[▲] 上の項目を選ぶとき

[▼] 下の項目を選ぶとき

## 3

[◀][▶] を押して、黒の濃さまたはコントラストを調整する



TVモニター上部の外光センサーが、周囲の明るさを感知し、現在の明るさを示すマークが画面に表示されます。

🌙（青）：暗いとき（夜間）  
☀（黄）：明るいとき（昼間）

ボタン 黒の濃さ コントラスト

[◀] 薄くなる 白黒の差が小さくなる（暗くなる）

[▶] 濃くなる 白黒の差が大きくなる（明るくなる）

## メモ

- 24 ~ + 24の範囲で設定が可能です。

## 4

[ BAND/ESC ] を押して、「画質調整メニュー」を閉じる

色の濃さや色あいを調整する  
映像の色の濃さ、色あいを調整します。

### メモ

- テレビ、ビデオ、DVDなどの映像ごとに、調整値を記憶させることができます。
- バックカメラはVTR1の設定として記憶されます。
- ナビゲーションの映像は調整できません。

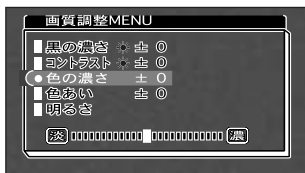
## 1

調整したい映像の表示画面で、TVモニターの[ WIDE ]をしばらく押し続ける

「画質調整メニュー」が表示されます。メニュー操作が続けて行われない場合は、約30秒後に元の画面に戻ります。

## 2

「色の濃さ」または「色あい」を選ぶ

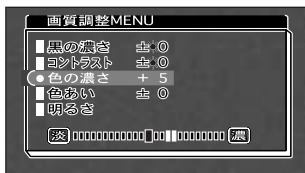


[▲] 上の項目を選ぶとき

[▼] 下の項目を選ぶとき

## 3

[◀][▶]を押して、色の濃さまたは色あいを調整する



ボタン 色の濃さ 色あい

[◀] 薄くなる 赤が強くなる

[▶] 濃くなる 緑が強くなる

### メモ

- 24 ~ + 24 の範囲で設定が可能です。

## 4

[ BAND/ESC ] を押して、「画質調整メニュー」を閉じる

液晶画面の明るさを調整する

夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見づらくなることがあります。本機は、周囲の明るさに合わせて、液晶画面の明るさを自動的に調整します(3点式インテリジェントディマー)。その自動的に調整される明るさを設定しておくことができます。

## 1

調整したい映像の表示画面で、TVモニターの[ WIDE ]をしばらく押し続ける

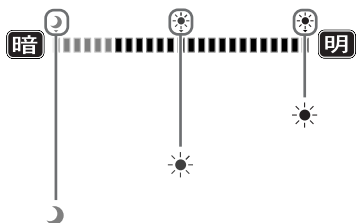
「画質調整メニュー」が表示されます。メニュー操作が続けて行われない場合は、約30秒後に元の画面に戻ります。

## 2

[▼]を押して「明るさ」を選ぶ



TVモニター上部の外光センサーで周囲の明るさを感知して、現在の周囲の明るさ(外光レベル)をマークの色、形、および位置で表示します。



☀ (黄) : 明るいとき (昼間)

☀ (赤) : 中間の明るさのとき (夕方)

☾ (青) : 暗いとき (夜間)

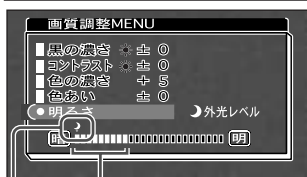
**メモ**

- 明るさを調整するときに基準となる外光レベルは、手順3で示すマークとその位置で表示されます。
- 黒の濃さやコントラストを調整するときのマークと異なる場合があります。

**3** [◀][▶]を押して、明るさを調整する

[◀] 画面を暗くするとき

[▶] 画面を明るくするとき



レベルは調整している画面の明るさを表します。右に伸びるほど、明るくなります。

この画面では、暗いとき(青)の画面の明るさを調整しています。

**メモ**

次の外光レベルごとに調整でき、それぞれの設定値を記憶させることができます。

- 暗い(青)
- 中間(赤)
- 明るい(黄)

**4**

[BAND/ESC]を押して、「画質調整メニュー」を閉じる

**メモ**

- 設定は、「画質調整メニュー」を閉じるときに記憶されます。「画質調整メニュー」を閉じる前に本機の電源をOFF(エンジンをOFF)にすると、設定の変更は無効になります。
- 「画質調整メニュー」を閉じた後、リセットボタンが押されたりバッテリーが外されても、明るさの調整内容は記憶されています。
- 映像ごとに調整値を記憶させることはできません。

## 画面の表示モードを切り替える

### 2画面表示させる

本機の画面の表示のしかたには、次の3種類があります。

1画面	通常の画面表示
ピクチャーサイドピクチャー	画面を2分割して、ナビゲーション画面とソース画面を同時に表示する
ピクチャーインピクチャー	ナビゲーション画面の中にソース画面を小さく表示する(子画面)

画面の表示モードを切り替えるには、次のようにします。

- 1 [DDM] を押す  
[DDM] を押すごとに、以下のよう  
に画面表示が切り替わります。

#### 1画面



#### ピクチャーサイドピクチャー



#### ピクチャーインピクチャー



### メモ

- AVIC-H9/H99またはAVIC-H09/H07を「HDDナビゲーションマップVol.2」以降にバージョンアップしたナビゲーションと組み合わせた場合は、「PsideP」(ピクチャーサイドピクチャー)、「PinP」(ピクチャーインピクチャー)の設定を「ON」にしてください。「ディスプレイ設定を変更する」(43P)
- AVIC-H09/H07を「HDDナビゲーションマップVol.2」以降にバージョンアップしていない場合は、ピクチャーインピクチャーは表示できません。
- 2画面とも同じ画面にすることはできません。
- ソース画面どうし(テレビとDVD、DVDとビデオなど)の2画面表示はできません。
- ナビゲーション画面のとき[DDM]を押すと、現在選ばれているソースとの2画面表示になります。
- ピクチャーインピクチャーで表示される子画面は、ワイドモードの設定にかかわらず、「ノーマル」(テレビアスペクトが4:3)で表示されます。
- ピクチャーインピクチャーの子画面の位置と大きさは変更できます。「ディスプレイ設定を変更する」(43P)
- ナビゲーションの操作をやすくするため、一時的にナビゲーション画面だけになる(1画面になる)ことがあります。
- ピクチャーサイドピクチャーまたはピクチャーインピクチャー表示中に[NAVI/AV]を押すと、ナビゲーション画面になります。
- ピクチャーインピクチャーの親画面と子画面の入れ替えはできません。



## 2画面表示の左右を入れ替える

ピクチャーサイドピクチャー表示のとき左右の画面を入れ替えるには、次のようにします。

### 1

[ DDM ] を長めに押す

[ DDM ] を押すごとに、左右の画面が入れ替わります。



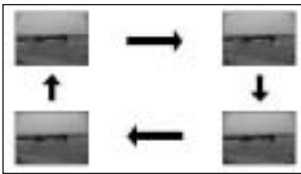
## 子画面の位置を移動する

ピクチャーインピクチャー表示のとき、子画面の位置を移動するには、次のようにします。

### 1

[ DDM ] をしばらく押し続ける

[ DDM ] を押すごとに、子画面の位置が移動します。



### メモ

「ディスプレイ設定」により位置を移動することもできます。

「ディスプレイ設定を変更する」  
(43P)

## ワイド画面の表示方法を切り替える

テレビ、ビデオ、DVDの映像については、通常の画面表示の他に4種類のワイドモード(次ページ)が用意されており、表示方法を切り替えることができます。

### メモ

- 通常画面は縦横比4:3、ワイド画面は縦横比16:9です。
- テレビ、ビデオ、DVDの映像ごとに、設定を記憶させることができます。
- ナビゲーション画面やソースの壁紙の画像は、ワイドモードによる表示の切り替えはできません。

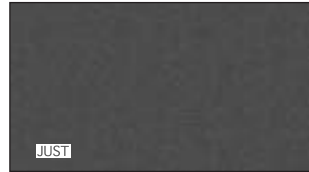
### 1

テレビ、ビデオ、DVDのいずれかの映像を1画面で表示させる

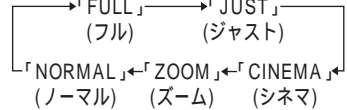
「2画面表示させる」(前ページ)

### 2

TVモニターの[ WIDE ]を押す



[ WIDE ] を押すごとに、ワイドモードが以下のように切り替わります。

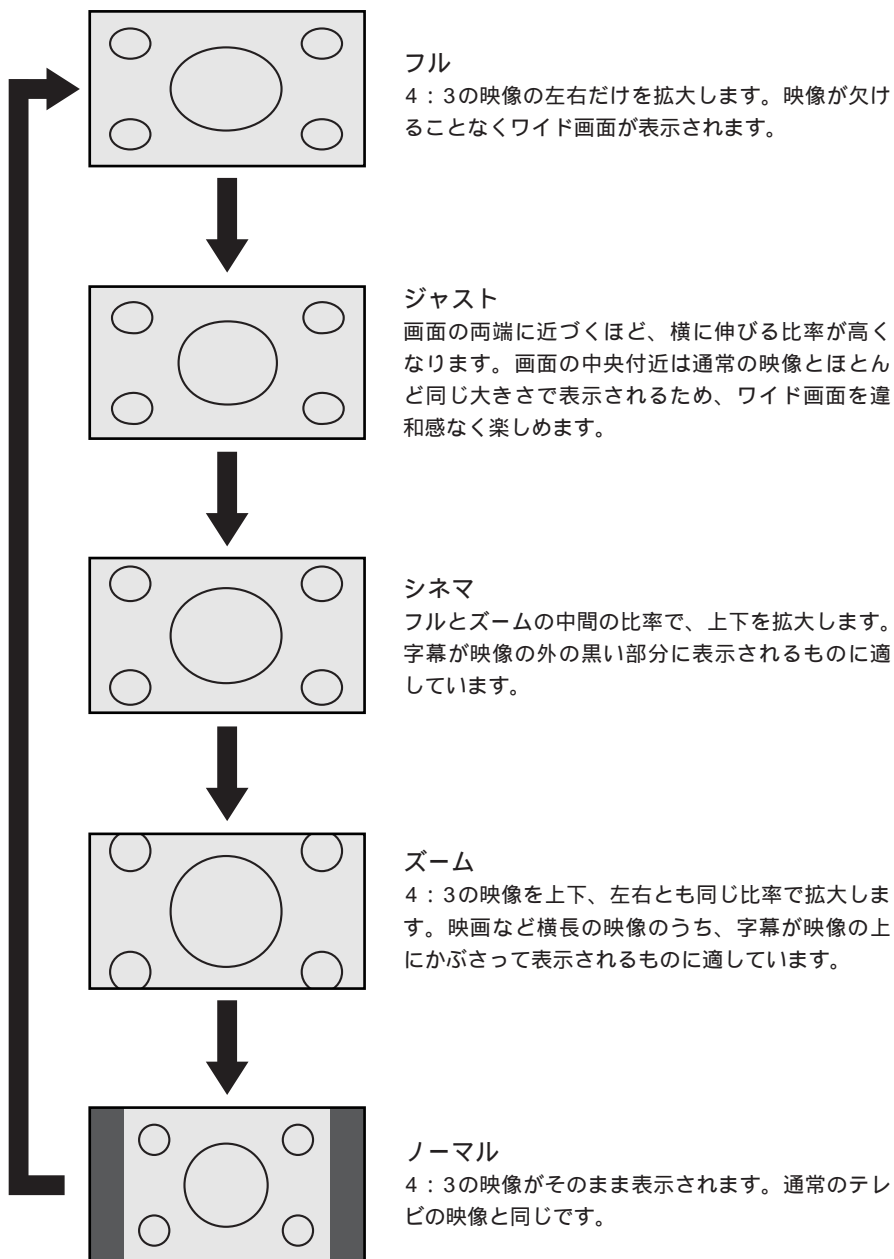


### メモ

- 2画面で表示しているときは、ワイドモードの切り替えはできません。
- 通常のテレビ放送の番組で、映像の縦横比が異なるモード(「フル」、「ジャスト」、「シネマ」)を選ぶと、本来の映像とは異なって見えます。
- 「シネマ」、「ズーム」では、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り替え機能を利用すると(フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと)、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

## ワイドモードの種類

画面の表示モードを切り替える



## 画面を消す

音声は消さずに、画面だけを消すことができます。(モニターのバックライトをOFFにします。)

- 1 TVモニターの [ DISP ] をしばらく押し続ける



画面が消えます。

画面を表示させるには、もう一度 [ DISP ] を押します。

### メモ

- 画面が消えている状態で電源を入れ直す (エンジンをかけ直す) と、画面は元どおりに表示されます。
- 画面が消えている状態でバックカメラに切り替わると、バックカメラの映像が表示されます。

# 音を調整する

音量に関する次の項目について、調整または設定することができます。

- 音量
- アッテネーター（音量を1/10に絞る）
- フェーダー・バランス（前後左右の音量バランス）
- ラウドネス（小音量時に低・高音域を持ち上げる）
- ソースレベルアジャスター（各ソースの音量の違いをそろえる）
- サブウーファー出力
- ハイパスフィルター（低音域をカットする）
- 消音レベルの設定

## 音量を調整する

- 1** ソースの画面で、[ VOLUME ] を押して音量を調整する画面右上に音量レベルが0～40の範囲で、4秒間表示されます。



[ VOL ( + 側 ) ] 音量を大きくするとき

[ VOL ( - 側 ) ] 音量を小さくするとき

### メモ

- リモコンで操作する場合は、リモコンの操作モードをテレビ操作モードに切り替えてください。
- サブディスプレイには、「VOL」と約4秒間表示されます。

## 瞬時に音を絞る

車内の会話が聞き取りにくいときに、一時的にオーディオの音量を絞って音声聞き取りやすくします（アッテネーター）。

- 1** ソースの画面で、ナビゲーションリモコンのVOLUMEツマミを押し込む「ATT」が表示され、音量が約1/10になります。



### メモ

- AVIC-V7はフロントパネルの「ATT」を押すことにより、アッテネーターをON/OFFすることができます。
- アッテネーターON時は「AUDIO&DSP設定」と「EQカーブ設定」メニューを開くことはできません。
- サブディスプレイには、「ATT」と表示されます。

## 元の音量に戻すには

もう一度ナビゲーションのVOLUMEツマミを押し込むか、ボリューム調整の操作をします。

## 「AUDIO&DSP設定」メニューを開く

フェーダー・バランス、ラウドネス、ソースレベルアジャスターは、「AUDIO&DSP設定」メニューから操作します。「AUDIO&DSP設定」メニューを開くには、次のようにします。

**1** ソースの画面で [ AUDIO MENU ] を押す  
「オーディオメニュー」が表示されます。

**2** 「AUDIO&DSP設定」を選んで [ AUDIO MENU ] を押す  
「AUDIO&DSP設定」メニューが表示されます。



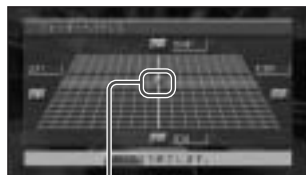
前後左右の音量バランスを調整する  
前後左右の音量バランスを調整することができます（フェーダー・バランス）。

**1** [ AUDIO MENU ] -  
「AUDIO&DSP設定」 -  
[ AUDIO MENU ] を押す  
「「AUDIO&DSP設定」メニューを開く」（前項）

**2** 「フェーダー・バランス」を選んで [ AUDIO MENU ] を押す



**3** [ ▲ ] [ ▼ ] を押して、前後のバランスを調整する



カーソルの位置で前後の音のバランスを確認できます。

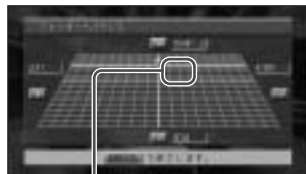
[ ▲ ] 前スピーカーの音を強めるとき

[ ▼ ] 後スピーカーの音を強めるとき

### メモ

F25 ~ R25の範囲で調整できます。

**4** [ ◀ ] [ ▶ ] を押して、左右のバランスを調整する



カーソルの位置で左右の音のバランスを確認できます。

[ ◀ ] 左側スピーカーの音を強めるとき

[ ▶ ] 右側スピーカーの音を強めるとき

### メモ

L25 ~ R25の範囲で調整できます。

**5** [ BAND/ESC ] を押して、「AUDIO&DSP設定」メニューを閉じる

小音量時の音にメリハリをつける  
小さな音量で聞いているときに、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます(ラウドネス)。

**メモ**

初期値は「OFF」です。

- 1** [AUDIO MENU] -  
「AUDIO&DSP設定」 -  
[AUDIO MENU] を押す  
「「AUDIO&DSP設定」メニューを開く」(前ページ)

- 2** 「ラウドネス」を選んで  
[AUDIO MENU] を押す



- 3** [▲] を押して、「ON」にする



「OFF」にするには、[▼] を押します。

- 4** [BAND/ESC] を押して、  
「AUDIO&DSP設定」メニューを閉じる

各ソースの音量の違いをそろえる  
本機はソースごとに音量を調整できるため、ソースを切り替えたときに予想外の高音量になることがあります。このような事態を防ぐために、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえる機能(ソースレベルアジャスター)が用意されています。

**メモ**

- FMの音量を基準に他のソースとの音量を調整するため、FMを聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定することはできません。
- ソースレベルアジャスターの設定後にAM、テレビ(VTR1、VTR2)、AUX、MD、DVD、CD、ミュージックサーバーの音量を個別に調整することができます。
- 交通情報(TI)は個別に調整できません。AMと同じ設定になります。
- MP3ディスクは個別に調整できません。CDと同じ設定になります。
- AVIC-H99/H09/H07と組み合わせた場合は、DVD、CD、MP3ディスク、ミュージックサーバーは個別に調整できません。ナビゲーションとして1つの設定になります。

- 1** FM以外のソース画面で  
[AUDIO MENU] -  
「AUDIO&DSP設定」 -  
[AUDIO MENU] を押す  
「「AUDIO&DSP設定」メニューを開く」(前ページ)

- 2** 「EQ詳細設定」を選んで [ ] を押す  
「AUDIO&DSP設定」メニューの2ページ目が表示されます。

- 3** 「タイムアライメント(詳細設定)」を選んで [▼] を押す  
「AUDIO&DSP設定」メニューの3ページ目が表示されます。

**メモ**

リスニングポジションの「FRONT-L」または「FRONT-R」が設定されていないときは、「タイムアライメント(詳細設定)」は選ばません。この場合に「AUDIO&DSP設定」メニューの3ページ目を表示させるには、「タイムアライメント(車種設定)」を選んで [▼] を押ししてください。

- 4** 「ソースレベルアジャスター」を選んで [ AUDIO MENU ] を押す



- 5** [ ▲ ] [ ▼ ] を押して、音量レベルを調整する



[ ▲ ] 選択しているソースの音量が上がる

[ ▼ ] 選択しているソースの音量が下がる

#### メモ

± 0 を基準に ± 4 段階の範囲で調整できます。

- 6** [ BAND/ESC ] を押して、「AUDIO&DSP設定」メニューを閉じる

### サブウーファーを使う

音声出力に接続したサブウーファーの位相、カットオフ周波数、レベルを設定することができます。

#### メモ

- AVIC-H9 と組み合わせた場合のみ使用できます。
- 初期値は「ON」です。

- 位相について  
サブウーファー出力には、フロント/リアスピーカー出力の音と同じ周波数帯域の音が含まれています。一方の音の位相が他方に対して180°ずれる（反転する）と、これらの音どうしが互いに打ち消し合い、その周波数帯域の音が聞こえなくなります。この現象を防ぐために、サブウーファーの位相切り替えが用意されています。車内の音響特性に合わせて、「正相」（フロント/リアスピーカーと同時に出力される）または「逆相」（フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される）を切り替えてください。
- カットオフ周波数について  
設定した周波数より高い周波数成分がカットされ、歯切れの良い重低音が出力されます。

- 1** [ AUDIO MENU ] - 「AUDIO&DSP設定」 - [ AUDIO MENU ] を押す  
「「AUDIO&DSP設定」メニューを開く」(53P)

- 2** 「EQ詳細設定」を選んで [ ▼ ] を押す  
「AUDIO&DSP設定」メニューの2ページ目が表示されます。

- 3** 「サブウーファー」を選んで [ AUDIO MENU ] を押す



つづく→

- 4** [▲][▼]を押して、「サブウー  
ファー出力」にカーソルを合わせる



- 5** [▶]を押して、「ON」にする  
「OFF」にするには、[◀]を押します。

- 6** [▲][▼]を押して、変更する  
項目にカーソルを合わせる

- 7** [◀][▶]を押して、設定を変  
更する



「位相」 「Normal」(正相)、  
「Reverse」(逆相)  
を切り替える

「カットオフ 50、63、80、100、  
周波数」 125 (Hz) から選択  
する

「レベル」 - 24 ~ +6 の範囲で  
調整する

- 8** [BAND/ESC]を押して、  
「AUDIO&DSP設定」メニュー  
を閉じる

## ハイパスフィルター (HPF) を 設定する

ハイパスフィルターを「ON」にすると、設定した周波数より低い周波数成分がカットされ、歯切れの良い中高音が出力されます。ハイパスフィルターは、フロントスピーカー、リアスピーカーについて、個別に設定します。

## メモ

- AVIC-H9と組み合わせた場合のみ設定できます。
- 初期値は「OFF」です。
- サブウーファースの「カットオフ周波数」と合わせて設定することによって、サブウーファーとの音のつながりを滑らかにすることができます。

- 1** [AUDIO MENU] -  
「AUDIO&DSP設定」 -

[AUDIO MENU]を押す  
「「AUDIO&DSP設定」メニュー  
を開く」(53P)

- 2** 「EQ詳細設定」を選んで[▼]  
を押す

「AUDIO&DSP設定」メニューの2  
ページ目が表示されます。

- 3** 「ハイパスフィルター」を選んで  
[AUDIO MENU]を押す



- 4** [▲][▼]を押して、「フロント  
設定」または「リア設定」に  
カーソルを合わせる

- 5** [▶]を押して、「ON」にする



「OFF」にするには、[◀]を押します。



**6** [▲][▼]を押して、「フロントカットオフ周波数」または「リアカットオフ周波数」にカーソルを合わせる

**7** [◀][▶]を押して、周波数を変更する



50、63、80、100、125 (Hz) から選択する

**8** [BAND/ESC]を押して、「AUDIO&DSP設定」メニューを閉じる

### 消音レベルを設定する

音声案内、ハンズフリー音声、音声操作の割り込み時にオーディオの音量を自動で絞ることができます。消音レベルは - 20dB、- 10dB、MUTE (無音) の3段階に設定することができます。

#### メモ

初期値は「- 10dB ATT」です。

**1** ソースの画面で [AUDIO MENU] を押す  
「オーディオメニュー」が表示されます。

**2** 「システム設定」を選んで [AUDIO MENU] を押す

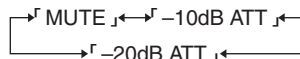
**3** 「消音レベル設定」を選んで [AUDIO MENU] を押す



**4** [◀][▶]を押して、好みの設定を選ぶ



[◀][▶]を押すごとに、以下のよう  
に切り替わります。



「- 20dB ATT」 音声が1/10になる

「- 10dB ATT」 音声が1/3になる

「MUTE」 音声が聞こえなくなる

#### メモ

- ここで設定した消音レベルが、ナビゲーション本体のオーディオミュートに適用されます。ナビゲーション本体の『ナビゲーションブック』を参照してください。
- 「オーディオメニュー」の設定中に音声案内の割り込みがあったときは、オーディオの音量は変わりません。
- 「オーディオメニュー」の設定中にハンズフリー音声の割り込みがあったときは、「オーディオメニュー」を終了して、それぞれの操作画面に切り替わります。

**5** [BAND/ESC]を押して、「オーディオメニュー」を閉じる

# 音質と音場の調整

車内の音響特性や座席位置に合わせて、音質と音場を調整します。

次の項目について、調整または設定することができます。

- イコライザーカーブの選択
- イコライザーカーブのレベル調整 (全音域)
- イコライザーカーブのレベル調整 (音域ごと)
- 音場設定の選択
- リスニングポジションの調整
- タイムアライメント (音声の到達時間の補正) の選択
- タイムアライメントの調整
- 音の歪み補正

## イコライザーカーブを選ぶ

本機にはあらかじめ7種類のイコライザーカーブが用意されています。音楽ジャンルに合わせて選択するなどの使いかたができます。

### メモ

- 初期値は「POWERFUL」です。
- 「CUSTOM1」は、ラジオ (FM、AM)、テレビ (VTR1、VTR2)、AUX、MD、DVD、CD (MP3ディスク)、ミュージックサーバーについて、イコライザーカーブを個別に記憶します。
- AVIC-H99/H09/H07と組み合わせた場合は、DVD、CD、MP3ディスク、ミュージックサーバーは個別に調整できません。ナビゲーションとしてひとつの設定になります。

## 1 ソースの画面で [ AUDIO MENU ] を押す

「オーディオメニュー」が表示されます。

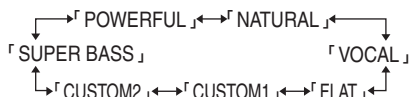
## 2 「EQカーブ設定」を選んで [ AUDIO MENU ] を押す



## 3 [ ◀ ] [ ▶ ] を押して、イコライザーカーブを選択する



[ ◀ ] [ ▶ ] を押すごとに、以下のように入り替わります。



### メモ

- 「CUSTOM1」と「CUSTOM2」は、お好みに合わせて調整することができます。
- 「FLAT」はイコライザーによる音の補正はされていません。選択したイコライザーカーブと交互に切り替えて、効果を確認することができます。

## 4 [ BAND/ESC ] を押して、「オーディオメニュー」を閉じる

イコライザーカーブを大まかに補正する

あらかじめ用意されているイコライザーカーブの全音域のレベルを調整します。

- 1 [AUDIO MENU] -  
「AUDIO&DSP設定」 -  
[AUDIO MENU] を押す  
「「AUDIO&DSP設定」メニューを開く」(53P)

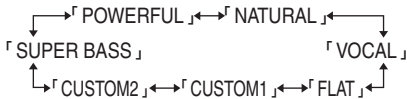
- 2 「EQニュアンス設定」を選んで  
[AUDIO MENU] を押す



- 3 [◀][▶] を押して、イコライザーカーブを選択する



[◀][▶] を押すごとに、以下のよう  
に切り替わります。



- 4 [▲][▼] を押して、レベルを調整する

[▲] レベルを上げるとき

[▼] レベル下げるとき

#### メモ

- 最大±6の範囲で調整できます。選んだイコライザーカーブによっては±6まで調整できないことがあります。
- 「FLAT」を選択したときは、イコライザーカーブを調整できません。

- 5 [BAND/ESC] を押して、「AUDIO&DSP設定」メニューを閉じる

#### メモ

- 「CUSTOM2」以外のカーブを選んでいるときに調整すると、「CUSTOM1」に記憶されます。
- 「CUSTOM2」が選択されているときに調整すると、「CUSTOM2」に記憶されます。
- 交通情報を受信しているときは、調整できません。

イコライザーカーブを細かく調整する

特定の音域を強調または抑制したいときは、イコライザーカーブのレベルを音域ごとに調整します。

- 1 [AUDIO MENU] -  
「AUDIO&DSP設定」 -  
[AUDIO MENU] を押す  
「「AUDIO&DSP設定」メニューを開く」(53P)

つづく→

- 2** 「EQ詳細設定」を選んで  
[ AUDIO MENU ] を押す



- 3** [ ◀ ] [ ▶ ] を押して、調整する  
周波数を選ぶ



選べる周波数

50、80、125、200、315、  
500、800、1.25k、2k、3.15k、  
5k、8k、12.5k

- 4** [ ▲ ] [ ▼ ] を押して、レベルを  
調整する



[ ▲ ] レベルを上げるとき

[ ▼ ] レベル下げるとき

**メモ**

±0を基準に±6段階の範囲で調整  
できます。

- 5** [ BAND/ESC ] を押して、  
「AUDIO&DSP設定」メニュー  
を閉じる

**メモ**

- 「CUSTOM2」以外のカーブを選  
んでいるときに調整すると、  
「CUSTOM1」に記憶されます。
- 「CUSTOM2」が選択されてい  
るときに調整すると、「CUSTOM2」  
に記憶されます。
- 交通情報を受信しているときは、  
調整できません。

## イメージに合った音場設定で演奏 会場を再現する

演奏会場をリアルに再現した音場が車内で楽  
しめます (SFC)。

SFCは、以下の設定から選ぶことができます。

### STUDIO

CDのような音楽ソースを録音する場所であ  
る録音スタジオモニタールームを再現してい  
ます。音像を正面に定位し、残響音は付加し  
ません。比較的狭いミキシングルーム壁面か  
らの初期反射音を処理することで、基本的な  
音場を再現しています。

### CLUB

50人程度入れるディスコを再現しています。  
残響音が吸収されやすい音場を再現し、ビー  
トの効いた音楽を聞くのに適しています。

### CONCERT

1000～2000人規模のクラシック音楽専  
用ホールを再現しています。反射音と残響音  
により、音の広がりや興行き感を楽しむこと  
ができます。

### DOME

ドームスタジアムでのライブ演奏をイメージ  
しています。遠くの壁面からの反射音により  
エコー音が生じます。その効果でドームスタ  
ジアムの広さを感じられる音場を再現してい  
ます。

### OCTAVER1/2

超低音を補うことで、低音を強調した重量感  
のある音で聞くことができます。

OCTAVER2のほうが、OCTAVER1よりも  
低音を強調する効果があります。

## BBE

高音域の補正とともに低音域を押し上げることで、高音は鮮明に細部まで再現され、低音は締まりのある明確な音となります。このため、ライブ演奏に近い、自然で臨場感のある音で再現することができます。

## OFF

SFCをOFFにします。

## メモ

- 初期値は「OFF」です。
- SFCとは、Sound Field Control (サウンドフィールドコントロール) の略です。
- この製品はBBEサウンド・インコーポレイテッドからの実施権に基づき製造されています。この製品は米国BBE社の所有する特許USP4638258と4482866を使用しています。BBEとBBEのシンボルはBBE Sound,Inc.の登録商標です。

## 1

[ AUDIO MENU ] -

「AUDIO&DSP設定」 -

[ AUDIO MENU ] を押す

「「AUDIO&DSP設定」メニューを開く」(53P)

## 2

「音場設定」を選んで [ AUDIO MENU ] を押す

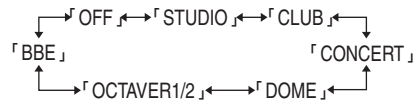


## 3

[ ◀ ] [ ▶ ] を押して、音場を選択する



[ ◀ ] [ ▶ ] を押すごとに、以下のように入り替わります。



## OCTAVERの切り替え

[ ▲ ] OCTAVER1を選ぶとき

[ ▼ ] OCTAVER2を選ぶとき

## BBEのレベル調整

[ ▲ ] レベルを上げるとき

[ ▼ ] レベルを下げるとき

## メモ

最大 ±4 の範囲で調整できます。

## 4

[ BAND/ESC ] を押して、「AUDIO&DSP設定」メニューを閉じる

## 音場の中心で聞く

乗車位置や乗車人数に合わせて、聞く位置を選択することができます (リスニングポジションニングセレクター)。

## 1

[ AUDIO MENU ] -

「AUDIO&DSP設定」 -

[ AUDIO MENU ] を押す

「「AUDIO&DSP設定」メニューを開く」(53P)

## 2

「EQ詳細設定」を選んで [ ▼ ] を押す

## 3

「リスニングポジション」を選んで [ AUDIO MENU ] を押す



## 4 [▲][▼][◀][▶]を押して、ポジションを選ぶ



[▲] FRONT↔OFF

[▼] ALL↔OFF

[◀] FRONT-L↔OFF

[▶] FRONT-R↔OFF

FRONT-R

右ハンドル車に運転者のみがいる場合  
FRONT-L

左ハンドル車に運転者のみがいる場合  
FRONT

同乗者が助手席にいる場合  
ALL

同乗者が後部座席にいる場合

### メモ

選択範囲が表示されていないときは  
OFFになっています。

## 5 [BAND/ESC]を押して、「AUDIO&DSP設定」メニューを閉じる

### メモ

設定したリスニングポジションごとに  
音量バランスを調整できます。

音量バランスの微調整については、  
「前後左右の音量バランスを調整する」(53P)を参照してください。

## 車種に合ったタイムアライメント を選ぶ

車種別にあらかじめ用意されたタイムアライメントの中からお車に合った設定を選ぶことにより、最適なタイムアライメントが自動的に設定されます。

### メモ

- タイムアライメントとは、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調整することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調整する機能のことです。
- 初期値は「SEDAN」です。

## 1 [AUDIO MENU] - 「AUDIO&DSP設定」 - [AUDIO MENU]を押す 「「AUDIO&DSP設定」メニューを開く」(53P)

## 2 「EQ詳細設定」を選んで[▼]を押す 「AUDIO&DSP設定」メニューの2ページ目が表示されます。

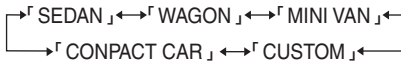
## 3 「タイムアライメント(車種設定)」を選んで[AUDIO MENU]を押す



- 4** [◀][▶]を押して、車のタイプを選ぶ



[◀][▶]を押すごとに、以下のよう  
に切り替わります。



**メモ**

CUSTOMには、調整したタイムア  
ライメントが記憶されます。

「タイムアライメントを調整する」  
(次項)

- 5** [BAND/ESC]を押して、  
「AUDIO&DSP設定」メニュー  
を閉じる

タイムアライメントを調整する  
リスニングポジションを「FRONT-L」また  
は「FRONT-R」に設定しているときは、タイム  
アライメントを調整することができます。  
リスニングポジションの設定については、  
「音場の中心で聞く」(61P)を参照してく  
ださい。

- 1** [AUDIO MENU] -  
「AUDIO&DSP設定」 -  
[AUDIO MENU]を押す  
「「AUDIO&DSP設定」メニュー  
を開く」(53P)

- 2** 「EQ詳細設定」を選んで [▼]  
を押す  
「AUDIO&DSP設定」メニューの2  
ページ目が表示されます。

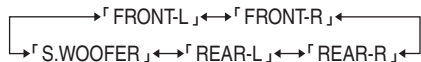
- 3** 「タイムアライメント(詳細設  
定)」を選んで [AUDIO  
MENU]を押す



- 4** [◀][▶]を押して、設定する  
スピーカーを選ぶ



[◀][▶]を押すごとに、以下のよ  
うに切り替わります。



**メモ**

サブウーファーの設定が「ON」の  
ときに「S.WOOFER」が表示されます。

- 5** [▲][▼]を押して、座席から  
スピーカーまでの距離を設定  
する



[ ] 距離を遠くするとき

[ ] 距離を近くするとき

**メモ**

0~400cmの範囲(2.5cmステッ  
プ)で設定できます。

- 6** [BAND/ESC]を押して、  
「AUDIO&DSP設定」メニュー  
を閉じる

## 音の歪みを補正する

デジタルアッテネーターは、イコライザーカーブの調整による音の歪みをなくすことができます。

**メモ**

- 初期値は「HIGH」です。
- 交通情報を受信しているときやソースがOFFのときは、デジタルアッテネーターは設定できません。
- イコライザーカーブの調整（「イコライザーカーブを細かく調整する」(59P)）で、レベルを高く設定した音域が歪むことがあります。イコライザーカーブの調整で音が歪んで聞こえるときは、デジタルアッテネーターの設定を「LOW」に切り替えてください。

**1**

[ AUDIO MENU ] -  
「AUDIO&DSP設定」 -  
[ AUDIO MENU ] を押す  
「「AUDIO&DSP設定」メニューを開く」(53P)

**2**

「EQ詳細設定」を選んで [ ▼ ] を押す  
「AUDIO&DSP設定」メニューの2ページ目が表示されます。

**3**

「タイムアライメント（詳細設定）」を選んで [ ▼ ] を押す  
「AUDIO&DSP設定」メニューの3ページ目が表示されます。

**メモ**

リスニングポジションの「FRONT-L」または「FRONT-R」が設定されていないときは、「タイムアライメント（詳細設定）」は選べません。この場合に「AUDIO&DSP設定」メニューの3ページ目を表示させるには、「タイムアライメント（車種設定）」を選んで [ ▼ ] を押してください。

**4**

「デジタルATTレベル設定」を選んで [ AUDIO MENU ] を押す

**5**

[ ◀ ] [ ▶ ] を押して、レベルを選ぶ



[ ◀ ] レベルを「HIGH」にするとき

[ ▶ ] レベルを「LOW」にするとき

**6**

[ BAND/ESC ] を押して、「AUDIO&DSP設定」メニューを閉じる



## その他の機能

### 5.1ch対応DSPユニットを組み合わせる

パイオニア製5.1ch対応DSPユニット「DEQ-P7」を接続すると、5.1チャンネルで収録された映画/音楽のDVDを臨場感豊かに再現することができます。「DEQ-P7」を接続したときは、「5.1ch DSPユニット」の設定を「ON」にしてください。

#### メモ

- 「DEQ-P7」を組み合わせることができるのは、拡張用デジタル出力端子付きのパイオニア製HDDナビゲーション（AVIC-H9）だけです。
- 「DEQ-P7」の制御には、マルチチャンネルプロセッサコマンダー「AXM-P7」が必要です。
- 「DEQ-P7」を接続したときは、ナビゲーションの音声案内を出力するために、ガイド音声用スピーカー「CD-TS36G」が必要です。
- 設定を「ON」にすると、本機の内蔵アンプおよび音量、音質に関する設定（「AUDIO&DSP設定」、「EQカーブ設定」、「消音レベル設定」、「音量調整」）は、すべて使用できなくなります。これらの設定は、「AXM-P7」および「DEQ-P7」側で操作します。「AXM-P7」、「DEQ-P7」の取扱説明書をご覧ください。
- 正しく接続してから「ON」にしてください。

**1** ソースをOFFにして、[AUDIO MENU]を押す  
「オーディオメニュー」が表示されます。

**2** 「システム設定」を選んで [AUDIO MENU]を押す

**3** 「5.1ch DSPユニット」を選んで [AUDIO MENU]を押す



**4** [▶]を押して、「ON」にする



「OFF」にするには、[◀]を押します。

**5** [AUDIO MENU]を押す

**6** [BAND/ESC]を押して、「オーディオメニュー」を閉じる

## バックカメラを組み合わせる

AVIC-H9/H99またはAVIC-H09/H07を「HDDナビゲーションマップVol.2」以降にバージョンアップしたナビゲーションと組み合わせている場合は、市販のバックカメラを接続して、車の後方の映像を画面に表示させることができます。シフトレバーを「R」(リバース)の位置にすると後方画面に切り替わります。駐車場で後退するときなどに便利です。

### ご注意

シフトレバーを「R」(リバース)の位置にしたときにバックカメラ以外の映像が表示されると危険ですので、バックカメラを接続していないときは、VTR1を「Back Camera」に設定しないでください。

### メモ

- バックカメラの映像は、本機のRCAビデオ入力(VTR1)に接続してください。詳しくは『取付説明書』をご覧ください。
- バックカメラの接続のしかたは、バックカメラの説明書をご覧ください。
- ナビゲーションの3Dハイブリッドセンサーの初期学習が終了していないときは、バックカメラには切り替わりません。
- ナビゲーションの起動中は、バックカメラに切り替わらないことがあります。
- バックカメラを正常に動作させるため、必ずバック信号を接続してください。バック信号の接続は、お使いのナビゲーション本体の『取付説明書』をご覧ください。
- バックカメラの映像はワイドモードの設定に関係なく、常に「フル」で表示されます。
- バックカメラの映像の画質調整値は、「VTR1」として記憶されます。
- サブディスプレイには、「CAMERA」と表示されます。

**1** ソースの画面で[AUDIO MENU]を押す  
「オーディオメニュー」が表示されます。

**2** 「システム設定」を選んで  
[AUDIO MENU]を押す



**3** 「AV入力設定」を選んで  
[AUDIO MENU]を押す

**4** [▲][▼]を押して、「VTR1」  
にカーソルを合わせる



**5** [◀][▶]を押して、「Back  
Camera」にする

**6** [BAND/ESC]を押して、  
「オーディオメニュー」を閉じる

バックカメラの映像を解除する  
バックカメラの映像をナビゲーションの画像に切り替えるには、以下のようにします。

**1** [NAVI/AV]を押す  
ナビゲーションの画像に切り替わります。

### メモ

- バックカメラの映像を再度表示させるには、シフトレバーをいったん「R」(リバース)以外の位置にしてから、「R」に入れ直してください。
- ナビゲーション起動時は、解除できません。

## サブディスプレイについて

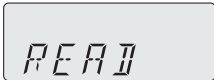
サブディスプレイには、ディスクのトラックNoやラジオの周波数、テレビの放送局、現在の時刻などの情報が表示されます。TVモニターを収納した場合でも、再生しているソースの状態がわかるので便利です。

### サブディスプレイの表示内容

サブディスプレイには各ソースに次の内容が表示されます。

テレビやラジオ、MD、交通情報、ビデオについては、本書の各ソースの説明をご覧ください。

### CD



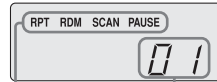
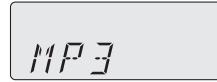
トラックNo

再生の種類に応じて点灯します。

### メモ

再生中にCDを取り出すと「NO-DISC」と表示されます。

### MP3



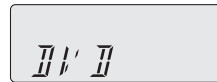
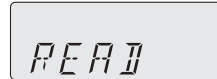
トラックNo

再生の種類に応じて点灯します。

### メモ

再生中にCDを取り出すと「NO-DISC」と表示されます。

### DVD



タイトルNo

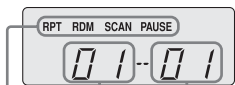
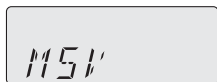
チャプターNo

再生の種類に応じて点灯します。

### メモ

再生中にDVDを取り出すと「NO-DISC」と表示されます。

## ミュージックサーバー



タイトルNo

再生の種類に応じて  
点灯します。

### メモ

プレイリストNOは「999」まで表示できませんが、プレイリストが「999」でさらにMP3ファイルがあるPCカードをセットした場合は「000-00」と表示します。

### 時計表示機能

時計表示にはナビゲーションの時刻データを使用しています。したがって、時計表示を修正する必要はありません。

### メモ

- AVIC-H9と組み合わせた場合のみ表示できます。
- 24時間表示です。
- ナビゲーションの地図上に表示される現在の時刻とサブディスプレイに表示される時計表示の時刻更新のタイミングが、完全には一致しません。
- ナビゲーションからの時刻情報がない場合は、「--:--」表示となり、時刻情報が取得できた時点で時刻が表示されます。

## 1

[TI] をしばらく押し続ける  
時計表示/ソース表示が切り替わります。

### メモ

- 時計表示モード時にソース切り替えや音量調整などを行うと、一時的に状態表示になります。
- モニター収納時かつ時計表示モード時にソースの情報を見る場合は、[WIDE]を押してください。

## リアモニターを組み合わせる

RCAリアモニター出力端子に、後部座席用のモニターを接続すると、本機の画面を後部座席でも楽しむことができます。

接続のしかたは、『取付説明書』を参照してください。

リアモニターに表示される映像について

- リアモニターには、現在選択されているソースの映像が表示されます。[NAVI/AV]を押しても、ナビゲーション画面は表示されません。
- リアモニターの画面を2画面表示に切り替えることはできません。
- リアモニターには、映像だけが表示されます。映像、音声、チャンネルなどの情報や、設定メニュー、ソースの壁紙は表示されません。
- リアモニターには、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく、映像が表示されます。したがって、走行中でもテレビやビデオ、DVDなどの映像を見ることができます。
- DVDビデオを選択している場合のみ、DVD画面専用の情報表示を見ることができます。

### ご注意

リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。

### メモ

リアモニターの映像出力はコンポジット信号です。接続されているモニターによっては、きれいに表示できない場合があります。

## ナビゲーションのハードディスクを取り外した場合

ナビゲーションのバージョンアップなどによりナビゲーションのハードディスクを取り外した場合、以下の機能制限・変更があります。

- ナビゲーション、DVDビデオ、CD、MP3ディスク、ミュージックサーバーが使用できない。
- オーディオ操作画面が変わる。
- 5.1ch DSPユニットの設定方法
- サブディスプレイに時計表示されない。

### 5.1ch DSPユニットの設定

「5.1ch DSPユニット」のON時は、スピーカーの接続先は「DEQ-P7」となります。このため、ナビゲーションのハードディスクを取り外した場合は、本機のリセットを行う必要があります。本機のリセットを行うと、設定は工場出荷状態となり、「5.1ch DSPユニット」もOFFとなります。

その場合、車両スピーカーから音声が出力できなくなるので、「5.1ch DSPユニット」の設定をONにする必要があります。

#### メモ

ハードディスクを元に戻した場合でも、ハードディスク取り外し中の設定を継続します。

**1** ACC OFFにしてナビゲーションのハードディスクを取り外した後、本機の[RESET]を押す

**2** ACC OFF状態で、本機の[SOURCE]と[BAND/ESC]を同時に押しながらACC ONにする  
サブディスプレイに「DISP OFF」と表示されます。

**3** 本機の[◀][▶]を押して5.1ch DSPユニットの設定を切り替える  
ON/OFFが切り替わります。

**4** [SOURCE]を押して、設定を終了する

#### メモ

[BAND/ESC]を押し続けるか、[AUDIO MENU]または[TI]を押す、あるいはACC OFFにしても設定を終了できます。

## TVモニターの正しい使いかた

### 取り扱い上のご注意

TVモニターは次の温度範囲内でお使いください。

使用温度範囲： - 10 ~ + 50

保存温度範囲： - 20 ~ + 80

直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限りTVモニターに直射日光が当たらないようにしてください。また、本機を使用しないときは、できるだけ本体にTVモニターを収納してください。

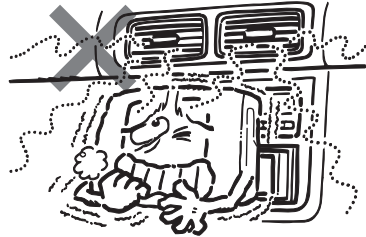
TVモニターの液晶画面は、車内での視認性向上のために露出しています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。



TVモニターを立ち上げたときにTVモニターの上に物を置いたり、TVモニターの立ち上げ、収納、角度調整を手でつかんで行わないでください。TVモニターに強い力が加わると故障する恐れがあります。



TVモニターを立ち上げたときに、TVモニターがエアコンの吹き出し口の近くになる場合は、エアコンの風がTVモニターに当たらないようにしてください。ヒーターの熱で液晶が壊れたり、クーラーの冷気でTVモニター内部に水滴がついて故障する恐れがあります。



TVモニターの立ち上げや収納のときに、物をはさまないように注意してください。物がはさまると、TVモニターが動かなくなることがあります。TVモニターが動かなくなったときは、はさまった物を取り除いてもう一度 [ OPEN/CLOSE ] を押してください。



エアバックなどの安全装置装着車の場合には、安全装置の作動に支障のないようにご注意ください。

### 液晶画面について

TVモニター画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）が出ることがあります。これは液晶TVモニター特有の現象で故障ではありません。

寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間が経過すると正常な明るさに戻ります。

TVモニター画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

## 小型蛍光管について

液晶画面を明るくするために、TVモニター内部に小型蛍光管を使用しています。この蛍光管は消耗品であり、寿命があります。

蛍光管の寿命は約1万時間ですが、寒いところでお使いになりますと、寿命が短くなることがあります。

蛍光管が寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このようなときは、お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

## お手入れについて

画面に付いたほこりやTVモニターの汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかい布でから拭きしてください。

画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。

化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。

ぬれたぞうきんは、使用しないでください。また、ベンジンやアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。



## メモ

映像を出力するために使われる信号形式には、RGB信号とコンポジット信号の2通りがあります。

コンポジット信号は、一般のビデオデッキなどのRCA映像出力に使われる信号です。

RGB信号は、パソコンの画面表示などに使われる信号です。本機では、ナビゲーションの映像をより鮮明に表示するために、RGB信号を使用しています。

## MDの正しい使いかた

### 使用できるMDについて

下記のマークが付いているMD(ミニディスク)をご使用ください。



長時間録音されているMDも再生できます。音楽用以外のMDは使用しないでください。故障の原因になります。

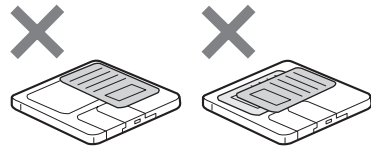
### 取り扱い上のご注意

MDのシャッターを手であけないでください。無理にあけると壊れることがあります。

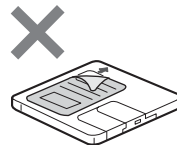


### ラベルについて

MDに付属のラベルは、必ず指定の位置に貼ってください。指定以外の位置に貼ったり、2枚重ねて貼ったりすると、MDが取り出せなくなることがあります。

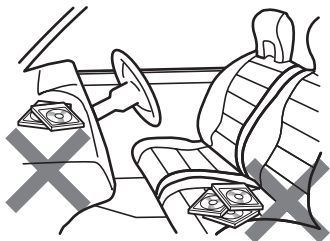


ラベルがめくれたり、浮いたりしたMDは使用しないでください。ラベルが引っかかり、MDが取りだせなくなります。このようなMDは新しいラベルに貼り替えてからお使いください。



### 保管上のご注意

MDは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



### お手入れについて

MDカートリッジの表面が汚れたときは、柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。MDにベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



MD用クリーニングディスクを使用するときは、クリーニングディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。クリーニングディスクによっては製品の故障の原因になる場合があります。

### 寒いときの結露について

寒いとき、ヒーターを入れた直後にMDの再生を始めると、本機内部のレンズやMDに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露が取れるまでお待ちください。MDのカートリッジ表面に付いた露は柔らかい布で拭いてください。

### 本機のリセットのしかた

次のようなときは、本機をリセットしてください。

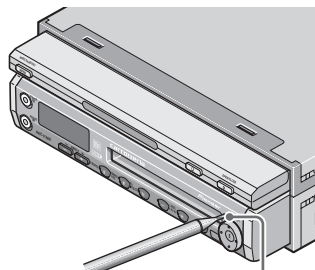
- 接続が終わった後
- 正しく動作しないとき
- 画面が正しく表示されないとき

#### ご注意

リセットボタンを押すと、TVモニターが自動的に立ち上げ/収納動作をします。収納に支障がないか確かめてから、リセットボタンを押してください。

### リセットする

ボールペンの先などで、リセットボタンを押す



リセットボタン

モニターは自動的に立ち上げ/収納動作をします。

#### メモ

リセットボタンを押すと、本機は初期状態に戻ります。本機の設定（プリセットチャンネルなど）は消去されますので、もう一度セットし直してください。



# 故障かなと思ったら

## 故障かな？ と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。

## チェックしても 直らないときは

本機をリセットしてください。  
「本機のリセットのしかた」(前ページ)

## それでも直らないときは

「保証書とアフターサービス」(79P)をお読みになり修理を依頼してください。

## 共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。 画面が正しく表示されない。	各リード線や各コネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 『取付説明書』
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。『取付説明書』
	ノイズなどが原因で内蔵のマイクが誤動作している。	リセットボタンを押してください。 「本機のリセットのしかた」(72P)
車のエンジンスイッチをOFFにしてもTVモニターが収納されない。	自動開閉機能が解除されている。	オートフラップ設定を「AUTO」にしてください。 「TVモニターの自動開閉を設定する」(42P)
音が出ない。 音が小さい。	接続が間違っている。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。『取付説明書』
	音量を下げている。	音量を上げてください。 「音量を調整する」(52P)
	アッテネーターがONになっている。	アッテネーターをOFFにしてください。 「瞬時に音を絞る」(52P)
	前後の音量バランスの調整が適切でない。	正しく調整してください。 「前後左右の音量バランスを調整する」(53P)

## 共通項目（つづき）

症状	原因	処置
音が出ない。 音が小さい。	「5.1 c h DSPユニット」が「ON」になっている。	5.1 c h DSPユニットが接続されていない場合は、「5.1 c h DSPユニット」を「OFF」にしてください。 「5.1 c h対応DSPユニットを組み合わせる」(65P)
	「5.1 c h DSPユニット」が「OFF」になっている。	5.1 c h DSPユニットが接続されている場合は、「5.1 c h DSPユニット」を「ON」にしてください。 「5.1 c h対応DSPユニットを組み合わせる」(65P)
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調整が適切でない。	正しく調整してください。 「前後左右の音量バランスを調整する」(53P)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調整が適切でない。	正しく調整してください。 「前後左右の音量バランスを調整する」(53P)
ナビゲーションの音声案内、操作音がスピーカーから出ない。	リアスピーカーしか接続されていない。	ナビゲーションの音声案内や操作音はフロントスピーカーからのみ出力されます。2スピーカーシステム車では、フロントスピーカー出力に接続してください。 『取付説明書』
画面に何も表示されない。	TVモニターのパックライトがOFFになっている。	TVモニターのパックライトをONにしてください。 「画面を消す」(51P)
映像が出ない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。 『取付説明書』
	パーキングブレーキをかけていない。	
TVモニターにナビゲーションの画像が映らない。	TVモニターが、ナビゲーション画面に切り替わっていない。	TVモニターをナビゲーション画面に切り替えてください。 「ソース画面に切り替える」(16P)
	ナビゲーションが正しく接続されていない。	ナビゲーションの接続を確認してください。 『取付説明書』

## 共通項目（つづき）

症状	原因	処置
バックカメラに切り替わらない。	初期学習が終了していない。	初期学習が終了するまで、しばらく走行してください。
	バック信号が接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 『取付説明書』
	「AV入力設定」を「Back Camera」に設定していない。	「AV入力設定」を「Back Camera」に設定してください。「バックカメラを組み合わせる」(66P)

## モニター

症状	原因	処置
画質調整ができない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。 『取付説明書』
	パーキングブレーキをかけていない。	
映像が明るい、または暗い。	「コントラスト」の調整が適切でない。	「コントラスト」を調整してください。 「黒の濃さやコントラストを調整する」(45P)
映像の色が薄い、または濃い。	「色の濃さ」または「色あい」の調整が適切でない。	「色の濃さ」または「色あい」を調整してください。 「色の濃さや色あいを調整する」(46P)
映像の色あいがおかしい。		
液晶画面が暗い。	「明るさ」の調整が適切でない。	「明るさ」を調整してください。 「液晶画面の明るさを調整する」(46P)
	車内の温度が低い。	
液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	-
映像がギザギザに表示される。	ワイド画面特有の現象で、故障ではありません。	-

## テレビ

症状	原因	処置
テレビの映りが悪い。 “ジージー、ザーザー” という雑音が多い。	チャンネルが合っていない。	チャンネルを正しく合わせてください。 「テレビの見かた」(18P)
	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。 「テレビの見かた」(18P)
	周囲に障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りが良くなり、雑音も少なくなります。
	アンテナ線と他のケーブルを束ねたり、重ねたりしている。	アンテナ線と他のケーブルは、できるだけ離してください。『取付説明書』
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 「テレビの見かた」(18P)
ソースプレートが消えない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。	ナビゲーションと本機のパーキングブレーキコードを両方とも接続し、パーキングブレーキをかけてください。 『取付説明書』

## ラジオ

症状	原因	処置
ラジオ受信中に“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 「ラジオの聞きかた」(26P)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 「ラジオの聞きかた」(26P)
	周囲に障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
	アンテナブースターの電源入力端子が接続されていない。	アンテナブースターの電源入力端子をオートアンテナリード線に接続してください。 『取付説明書』
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 「ラジオの聞きかた」(26P)

## MD (AVIC-V7MDのみ)

症状	原因	処置
ソースがMDに切り替わらない。	MDが挿入されていない。	MDを挿入してください。
MD再生中に、大きな雑音が出る。 MDの再生が途中で止まる。 MDが自動的に出てくる。	MDが極端に汚れている。	MDを交換してください。
	MDの曇り、またはMDに水滴が付いている。	
	録音されていないMDを挿入した。	MDを取り出して正しい向きに挿入してください。 「MDの聞きかた」(32P)
	MDが正しい向きで挿入されていない。	

## MDのエラー表示

メッセージ/(エラー番号)	原因	処置
「高温、または低温のためMDが再生できません。ディスクをとりだしてください。」	本機の内部温度が高い、または低いとき	MDディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。
「ERROR 11,12,17,30」	MDが汚れているとき MDにキズやひびがあるとき	他のMDと交換してください。
「ERROR 20,21」	振動などが原因で曲の情報を読み取れなかったとき	MDを取り出し、もう一度入れ直してください。それでも同じメッセージが表示される場合は、他のMDと交換してください。
	MDに異常(損傷している、TOCが入っていないなど)があるとき	
「ERROR 22,24」	MDに異常(損傷している、TOCが入っていないなど)があるとき	他のMDと交換してください。
「ERROR 23」	音楽以外の情報が記録されたMDを使用したとき	音楽が録音されたMDを使用してください。
「ERROR 01,11,12,17,30, A0」	本機の電気系、機械系の故障が考えられるとき	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、MDの再生を停止し、もう一度MDを再生してください。

## MDのエラー表示（つづき）

メッセージ/（エラー番号）	原因	処置
「ERROR A1」	本機の電気系、機械系の故障が考えられるとき	MDの再生を停止し、リセットボタンを押してから、もう一度MDを再生してください。 「本機のリセットのしかた」(72P)
「ERROR」	MDが何らかの原因で再生されないとき	他のMDと交換してください。 リセットボタンを押してください。 「本機のリセットのしかた」(72P)
「Blank MD」	何も録音されていないIMDを挿入したとき	他のMDと交換してください。

TOC (Table Of Contents) とは、CD、MD、DATなどに収録されている曲数、演奏時間、タイトルなどの、音声信号以外の情報のことです。

## サブディスプレイの表示

表示	原因	処置
DVDやCD、ミュージックサーバーのときに「NAVI」と表示される。	AVIC-H99/H09/H07でのナビゲーション側のオーディオは、ナビゲーションとしてまとめて管理しています。このため、「NAVI」と表示されます。	-

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店から受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

## 保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

## 保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご覧ください。

## 保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

## 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を保持するために必要な部品です。）

## ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタムサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

## お願い

修理をご依頼になるときは、故障の原因をより早く確実に解決するため、TVモニターおよびTVモニターと組み合わせているHDDナビゲーションサーバー本体の両方をお持ち込みください。なお、サービス対応時におきましては、お客様が保存されたデータが消えることがあります。重要な内容は紙などに控えておいてください。

## 仕様

## 共通部

使用電圧 : DC 14.4 V  
(10.8 ~ 15.1 V 使用可能)

アース方式 : マイナスアース方式

最大消費電流 : 10 A

## 外形寸法 (本体)

(取付寸法) : 178 (W) × 50 (H)  
× 165 (D) mm

(ノーズ寸法) : 171 (W) × 46 (H)  
× 24 (D) mm

(モニター部) : 170 (W) × 123  
(H) × 13 (D) mm

## 質量 (本体)

AVIC-V7MD : 2.1 kg  
(コードユニット含まず)

AVIC-V7 : 1.9 kg  
(コードユニット含まず)

## モニター部

画面サイズ : 7.0インチワイド  
ディスプレイ

有効表示面積 : 87.1 × 154.1  
mm

有効画素数 : 336,960画素  
(234 × 1.440)

方式 : TFTアクティブマト  
リクス方式

## 透過型

エッジライト : 冷陰極L字管

使用温度範囲 : -10 ~ +50

保存温度範囲 : -20 ~ +80

## TVアンテナ部

外形寸法 : 30 (W) × 28 (H)  
× 192 (D) mm  
(収納時、アンテナ  
ベース含まず)

質量 : 285 g  
(コード含む、片側)

出力端子 : 3.5 ミニプラグ  
× 4

アンテナケーブル : 7.0m

## TVチューナー部

受信チャンネル : VHF1 ~ 12 ch、  
UHF13 ~ 62 ch

実用感度 : 6 dB $\mu$  (75、  
モノラル音声)

映像S/N : 40 dB以上  
(59 dB $\mu$  入力、  
白 100%)

映像雑音制限感度 : 40 dB $\mu$

クロストーク : 主 副 35 dB以上  
副 主 40 dB以上

S/N : 60 dB (IHF-Aネッ  
トワーク)

ステレオセパレーション : 30 dB (1 kHz)

アンテナ入力 : 4 chダイバーシティ

## VTR入力部

外部映像入力レベル : 1 V<sub>p-p</sub>/75

外部音声最大入力レベル : 1.5 V/22 k

## FMチューナー部

受信周波数帯域 : 76.1 ~ 89.9 MHz

実用感度 : 9 dBf  
(0.8  $\mu$ V/75、モ  
ノラル、S/N : 30  
dB)

50 dB 感度 : 14 dBf

S/N : 70 dB以上 (IHF-A  
ネットワーク)



高調波歪率： 0.3 %  
 周波数特性： 30 ~ 15,000 Hz  
 (± 3 dB)  
 ステレオセパレーション： 40 dB以上 (65 dBf  
 入力、1 kHz)

#### AMチューナー部

受信周波数帯域： 522 ~ 1,629 kHz  
 (9 kHz)  
 実用感度： 22.5 μV  
 (S/N : 20 dB)  
 実効選択度： 50 dB以上 (± 9  
 kHz)

#### MDプレーヤー部 (AVIC-V7MD)

形式： ミニディスクデジ  
 タルオーディオシ  
 ステム

使用ディスク： ミニディスク

#### 信号フォーマット

サンプリング周波数： 44.1 kHz  
 量子化ビット数： 16ビット直線  
 周波数特性： 20 ~ 20 kHz  
 (± 2 dB)  
 S/N : 88 dB (1 kHz  
 IHF-A ネットワーク  
 スピーカーOUT)  
 ダイナミックレンジ： 80 dB (1 kHz  
 IHF-A ネットワーク  
 スピーカーOUT)

チャンネル数： 2 (ステレオ)

#### オーディオ/DSP部

最大出力： 50 W × 4  
 定格出力： 22 W × 4  
 負荷インピーダンス： 4  
 (4 ~ 8 使用可能)

#### プリアウト

最大出力レベル： 2.2V  
 出力インピーダンス： 1 k  
 ラウドネスコンター： 10 dB (100 Hz)、  
 6 dB (10 kHz)

#### イコライザー(13バンド)

周波数： 50 Hz、80 Hz、  
 125 Hz、200 Hz、  
 315 Hz、500 Hz、  
 800 Hz、1.25 kHz、  
 2 kHz、3.15 kHz、  
 5 kHz、8 kHz、  
 12.5 kHz

調整幅： ± 6 dB

#### ハイパスフィルター

カットオフ周波数： 50/63/80/100/  
 125Hz

カットオフスロープ： - 12dB/oct

#### サブウーファー出力

カットオフ周波数： 50/63/80/100/  
 125Hz

カットオフスロープ： - 18dB/oct

調整幅： - 24 ~ + 6dB

位相： NOR/REV

#### 付属品

コード類： 1式  
 取付キット： 1式  
 取扱説明書： 1  
 取付説明書： 1  
 安全上のご注意： 1  
 保証書： 1  
 ご相談窓口・修理  
 窓口のご案内： 1

#### AVIC-V7MD

本機はドルビー・ラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

『取付説明書』の「接続・取り付け部品を確認する」に接続・取り付け部品の一覧表が記載されています。

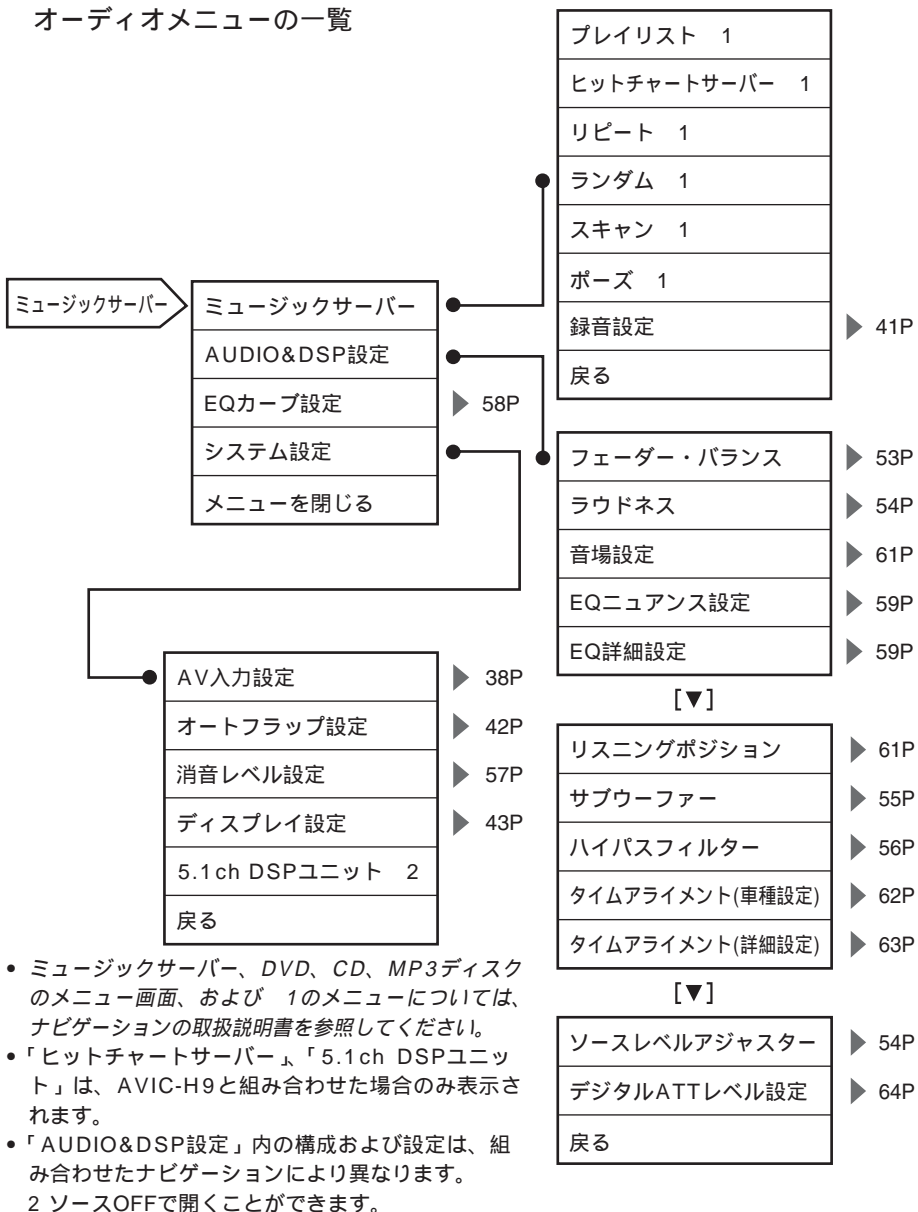
#### メモ

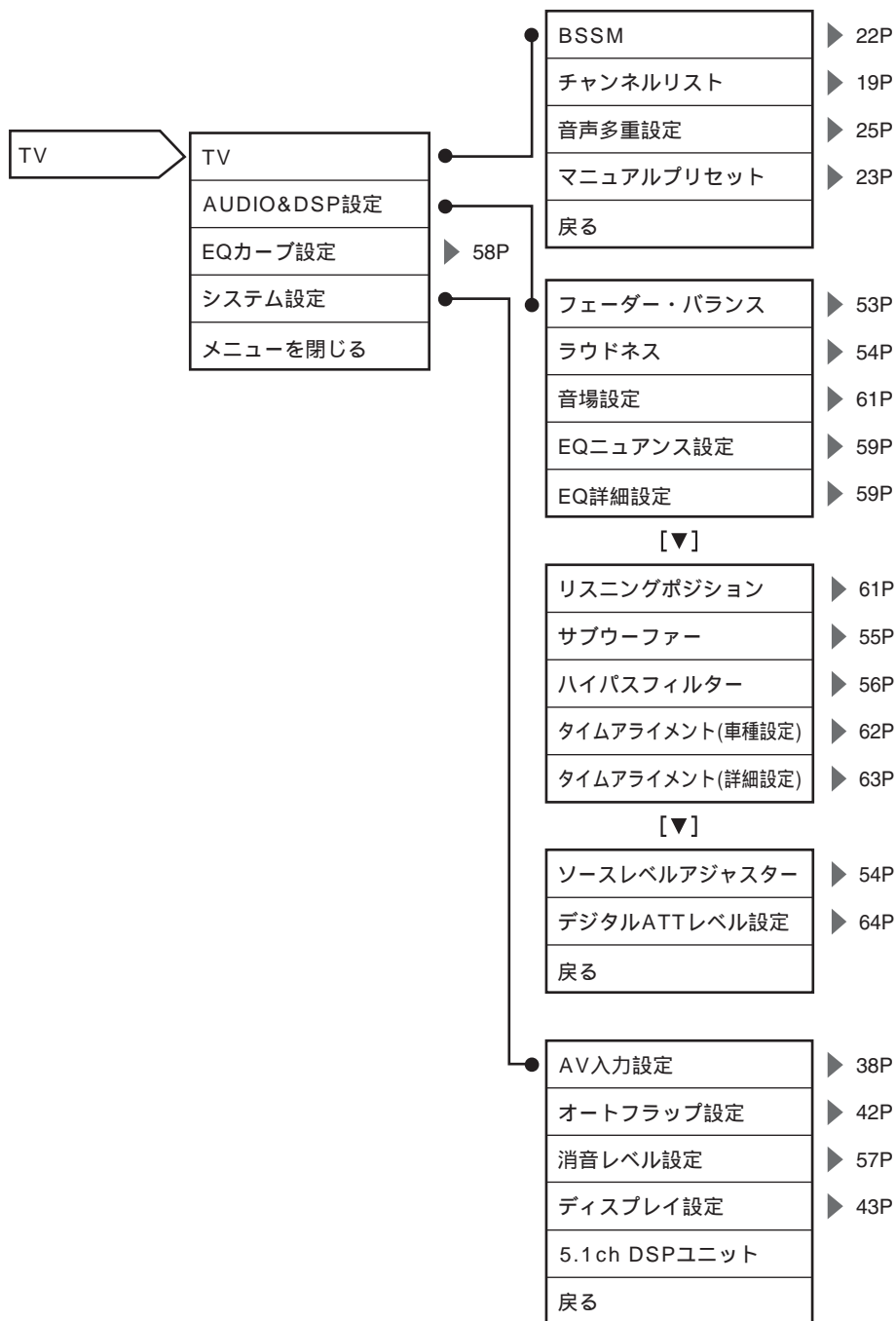
- 仕様および外観は予告なく変更することがあります。またこの説明書中のイラストと実物が、一部異なることがあります。
- 本機は日本国内専用です。外国ではご利用いただけません。

## 索引

## メニュー索引

## オーディオメニューの一覧





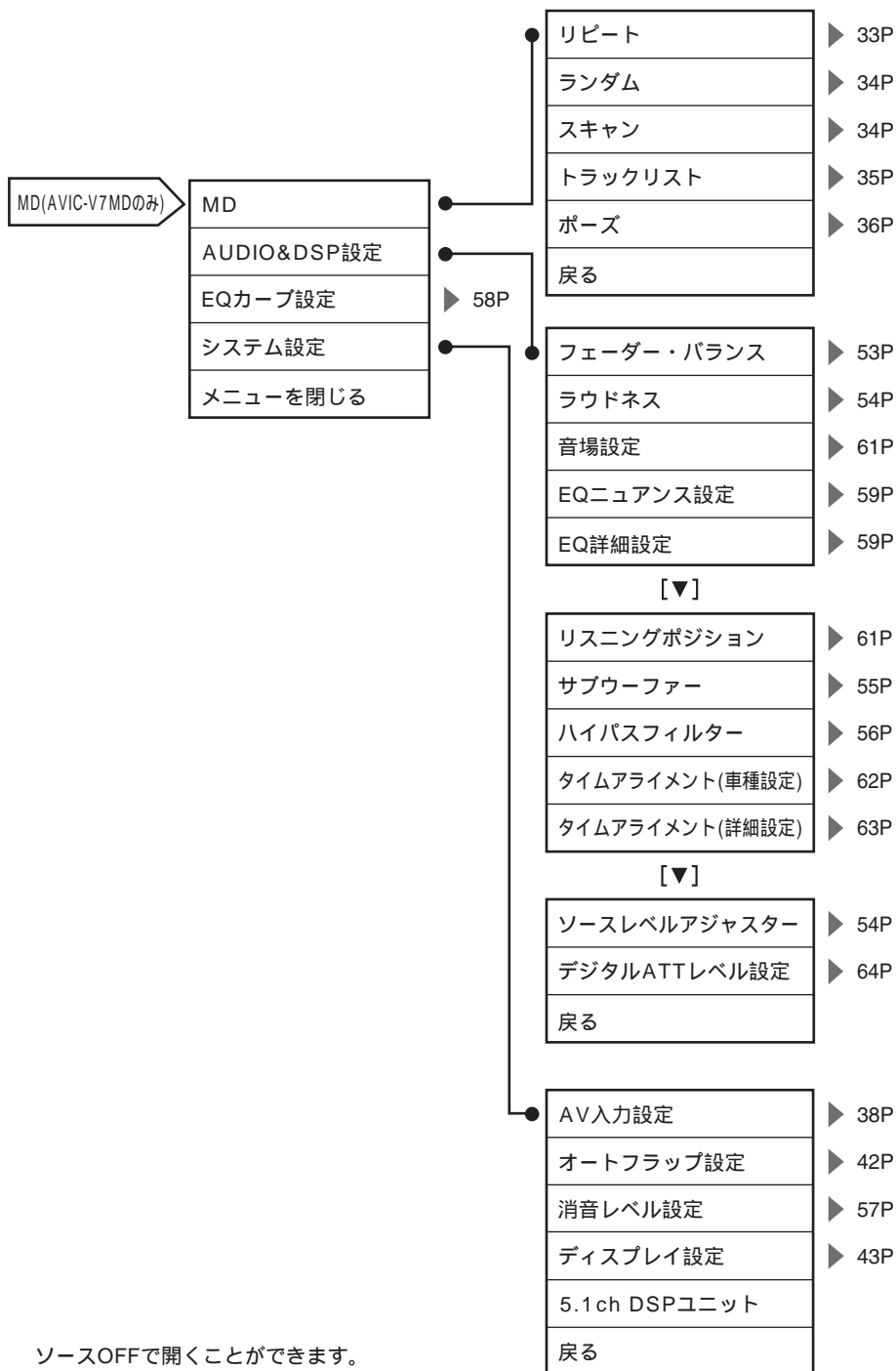
ソースOFFで開くことができます。

FM/AM	FM(AM)	58P	BSM	▶ 29P
	AUDIO&DSP設定		チャンネルリスト	▶ 27P
	EQカーブ設定		FMダイバーシティ設定 1	▶ 31P
	システム設定		マニュアルプリセット	▶ 30P
	メニューを閉じる		戻る	
			フェーダー・バランス	▶ 53P
			LOUDNESS	▶ 54P
			音場設定	▶ 61P
			EQニュアンス設定	▶ 59P
			EQ詳細設定	▶ 59P
			[▼]	
			リスニングポジション	▶ 61P
			サブウーファー	▶ 55P
			ハイパスフィルター	▶ 56P
			タイムアライメント(車種設定)	▶ 62P
			タイムアライメント(詳細設定)	▶ 63P
			[▼]	
			ソースレベルアジャスター 2	▶ 54P
			デジタルATTレベル設定	▶ 64P
			戻る	
			AV入力設定	▶ 38P
			オートフラップ設定	▶ 42P
			消音レベル設定	▶ 57P
			ディスプレイ設定	▶ 43P
			5.1 ch DSPユニット 3	
			戻る	

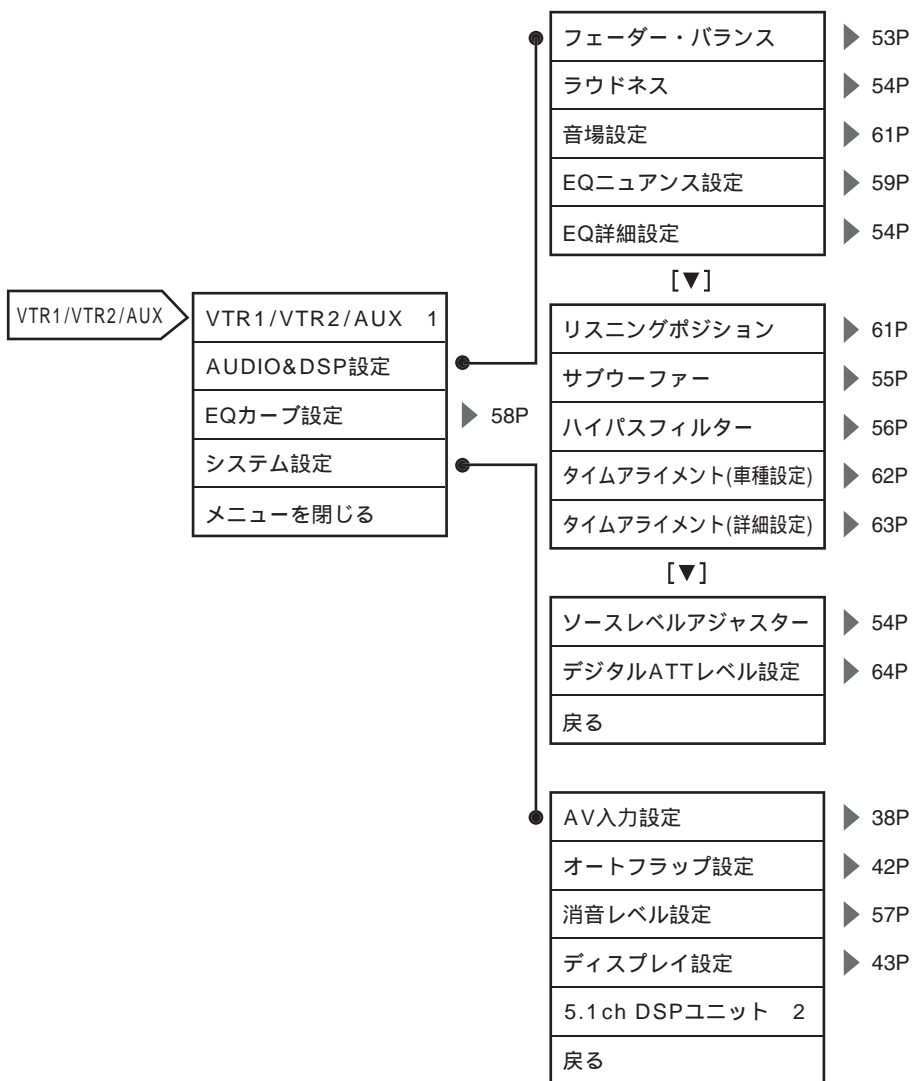
1 AMでは、メニューを開くことはできません。

2 FMではメニューを開くことはできません

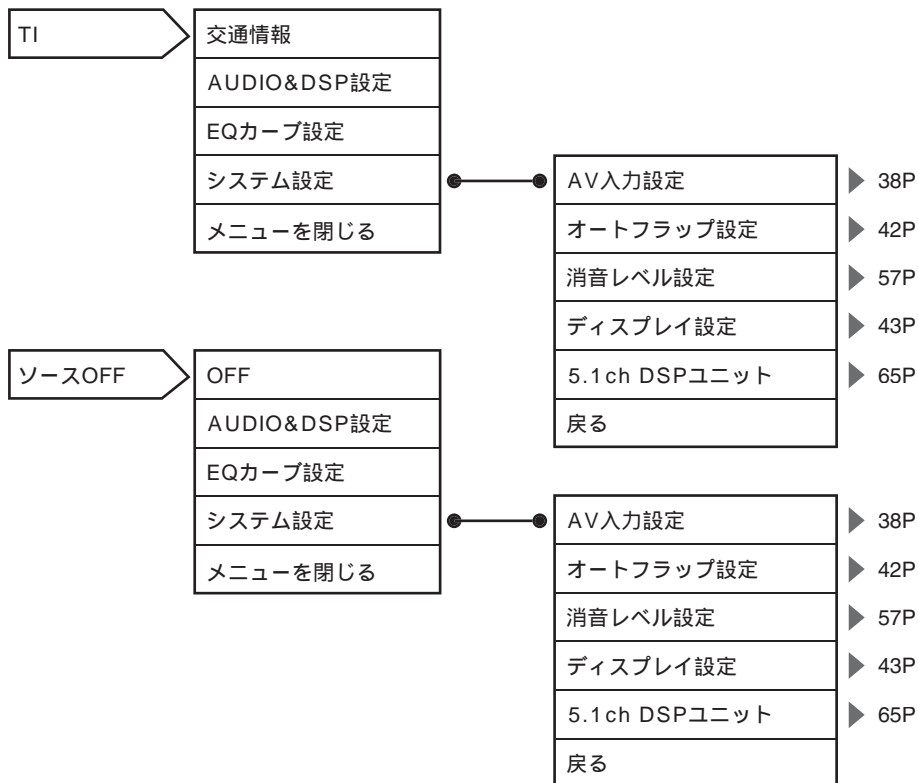
3 ソースOFFで開くことができます。



ソースOFFで開くことができます。



- 1 メニューを開くことはできません。
- 2 ソースOFFで開くことができます。



メニューを開くことはできません。



この説明書の印刷には、植物性大豆インキを使用しています。

## ご購入後の製品の修理・取り扱いのご相談は、お買い求めの販売店へお問い合わせください

修理のご依頼は、取扱説明書の『故障かな?と思ったら』の項目をご確認のうえ、お買い求めの販売店へご依頼ください。取り付け・組み合わせなどのお問い合わせにつきましては、お買い求めの販売店へご相談・ご依頼ください。

### 下記窓口へのお問い合わせ時のご注意

市外局番「0070」で始まる☎フリーフォンおよび「0120」で始まる☎フリーダイヤルは、PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。また、一般電話は携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。あらかじめご了承ください。

### 安全上のご注意

携帯電話などの走行中の使用などの禁止に関する規定が、改正道路交通法（法第71条第5号の5）にて施行されています。自動車または原動機付自転車（原付）からの、携帯電話などによる発信・応答・通話は、安全な場所に止めてからご利用ください。

## 製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

### カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9:30～17:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

カーオーディオ/カーナビゲーション製品のご相談窓口 : ☎ **0070-800-8181-11**  
**03-5496-8016**（一般電話）

カタログのご請求窓口 : ☎ **0070-800-8181-33**  
ファックス : **03-3490-5718**

### バイオニアホームページのご案内

商品に関する「よくあるお問い合わせ」FAQのご案内  
カタログ請求とメールサービス登録のご案内

<http://www.pioneer.co.jp/support/faq/index.html>  
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html>

## 部品のご購入についてのご相談窓口

付属品（リモコン・取扱説明書など）のご購入に関するご相談については、部品受注センターにご相談ください。

### 部品受注センター（フリーダイヤル）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話 : ☎ **0120-5-81095**  
**0538-43-1161**（一般電話）

ファックス : ☎ **0120-5-81096**

## ご贈答品などの修理についてのご相談窓口

修理のお問い合わせは、取扱説明書の『故障かな?と思ったら』の項目をご確認のうえお問い合わせください。ご転居されたり、ご贈答品などで、お買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、下記の修理受付センターにご相談ください。

### 修理受付センター（沖縄県を除く全国）（フリーダイヤル）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話 : ☎ **0120-5-81028**  
**03-5496-2023**（一般電話）

ファックス : ☎ **0120-5-81029**

### 沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話 : **098-879-1910**（一般電話）  
ファックス : **098-879-1352**

## パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

©パイオニア株式会社 2003

< KKNEF/03D00001 > < CRA3530-A >